

**東予東部ものづくり産業に対する意識調査**  
**— 報告書 —**

**令和2年2月**

**東予東部ものづくり若年人材確保対策協議会**  
**(株式会社いよぎん地域経済研究センター)**

## 目次

|                 |    |
|-----------------|----|
| 調査概要.....       | 2  |
| 調査結果要約.....     | 4  |
| 1. アンケート結果..... | 5  |
| 2. ヒアリング結果..... | 45 |
| おわりに.....       | 49 |

## 調査概要

### 1. 目的

本調査において、県内の高校生の東予東部地域（新居浜市、西条市、四国中央市）のものづくり企業への就職や移住などに関する意識を明らかにし、今後の人材確保等の施策の基礎資料とする。また、分析結果を東予東部地域のものづくり企業と共有することにより、企業の中・南予地域への採用活動に向けた取り組みを後押しする。

### 2. 調査内容

#### (1) 高校生アンケート

東予の高校生（工業科）および中予・南予の高校生に対して、就職を希望する業種や地域、ものづくりに対するイメージ、東予東部地域との関わりやイメージ、就職を決める際に参考にする点や重視する点などを明らかにした。

東予東部地域で働くことに対する意識調査

|     |   |
|-----|---|
| 時 期 | 令和元年 12 月   |
| 対 象 | 東予の高校生（工業科）および中予・南予の高校生 2,842 名<br>（工業科高校は全数調査、工業科以外の高校はサンプル調査） |
| 方 法 | 学校経由でアンケート票を配布・回収   |

回答者の属性

単位：%

|              | 全体    | 2 年生 | 3 年生 |
|--------------|-------|------|------|
| 東予（工業科）      | 16.6  | 48.2 | 51.8 |
| 中予・南予（工業科）   | 53.3  | 50.3 | 49.7 |
| 中予・南予（工業科以外） | 30.1  | 50.9 | 49.1 |
| 全 体          | 100.0 | 50.1 | 49.9 |

## (2) ものづくり企業へのヒアリング

アンケート結果をもとに、東予東部地域および中予・南予の高校生のものづくり企業への就職に対する意識・動向と、企業の採用活動とのギャップについて、経営者や採用・人事担当者にヒアリングを行った。

### ものづくり企業へのヒアリング

|     |   |
|-----|---|
| 時 期 | 令和2年2月  |
| 対 象 | 東予東部地域（新居浜市、西条市、四国中央市）のものづくり企業<br>10社の経営者・採用担当者 |
| 内 容 | 採用活動、中予・南予への求人、アンケート結果に対する意見、行政や協議会への要望、その他     |
| 方 法 | 電話および訪問   |

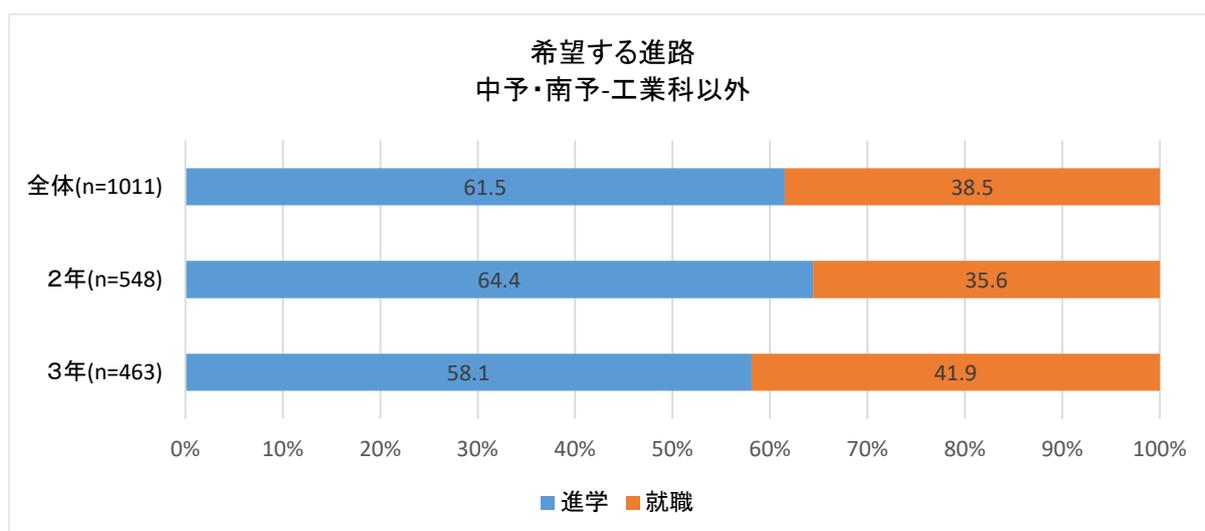
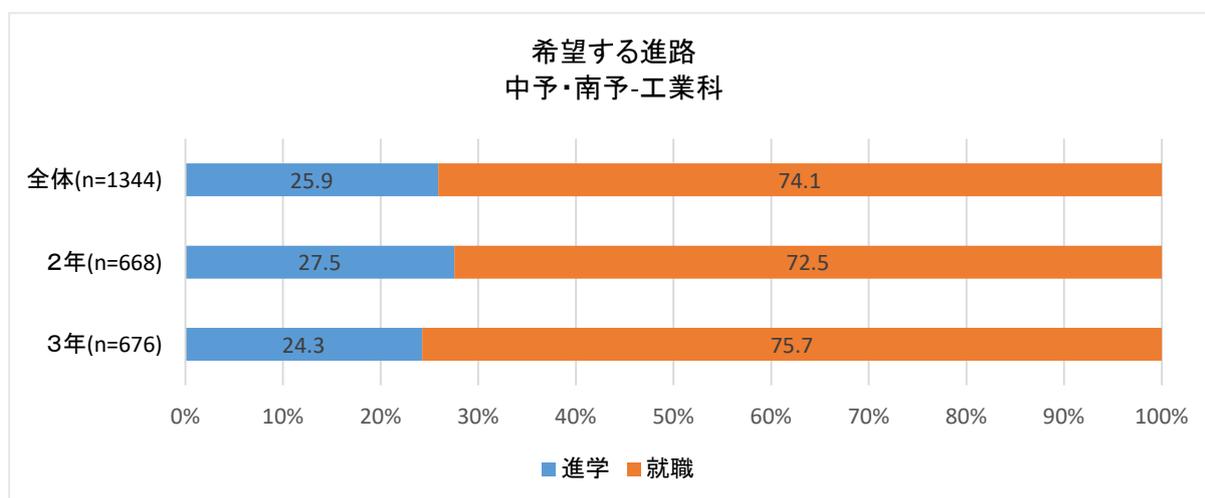
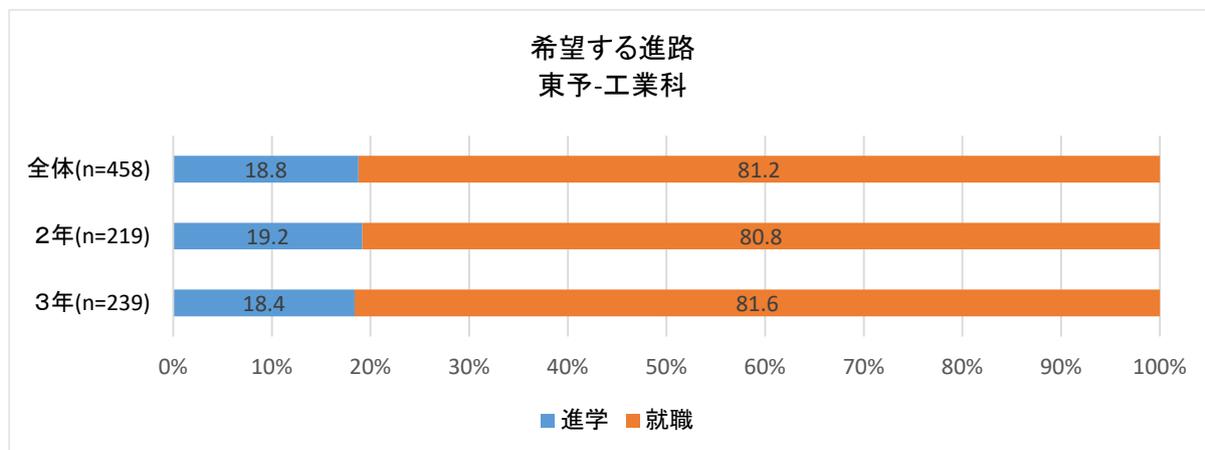
## 調査結果要約

- ・ アンケートによると、県内の高校生は、学科や学年、地域に関係なく、ものづくり企業に対して良いイメージを持っている。しかしながら、ものづくり企業に就職したいという割合は、工業科生徒の約5割、工業科以外の生徒では1割にとどまった。
- ・ 中予・南予の高校生は、地元や松山以外の就職先として県外を志向する傾向がみられた。一方、東予東部地域は、「働きたい企業がない」「どのような企業があるのか知らない」などの理由で、就職を希望する地域として選択される割合が低かった。
- ・ 就職先を決めるにあたって、3年生は、「会社訪問や職場見学への参加」が参考になったという割合が高かった。企業には受け入れ態勢の拡大や内容の充実が求められ、学校との接点を強化することも重要である。
- ・ ヒアリング先企業の多くは、中予・南予出身者を採用していなかったが、「将来的に中予・南予へ求人を出す可能性はある」という意見もあった。ただ、中小企業が広域かつ多様な媒体でPR・募集することは難しく、本協議会や経済団体などを中心に、学校訪問や会社説明会・企業見学会を開催したり、ホームページ・SNSなどによる情報発信を検討・実施したりすることが望まれる。

※調査結果の詳細は、P.49～50をご覧ください。

# 1. アンケート結果

## (1) 希望する進路

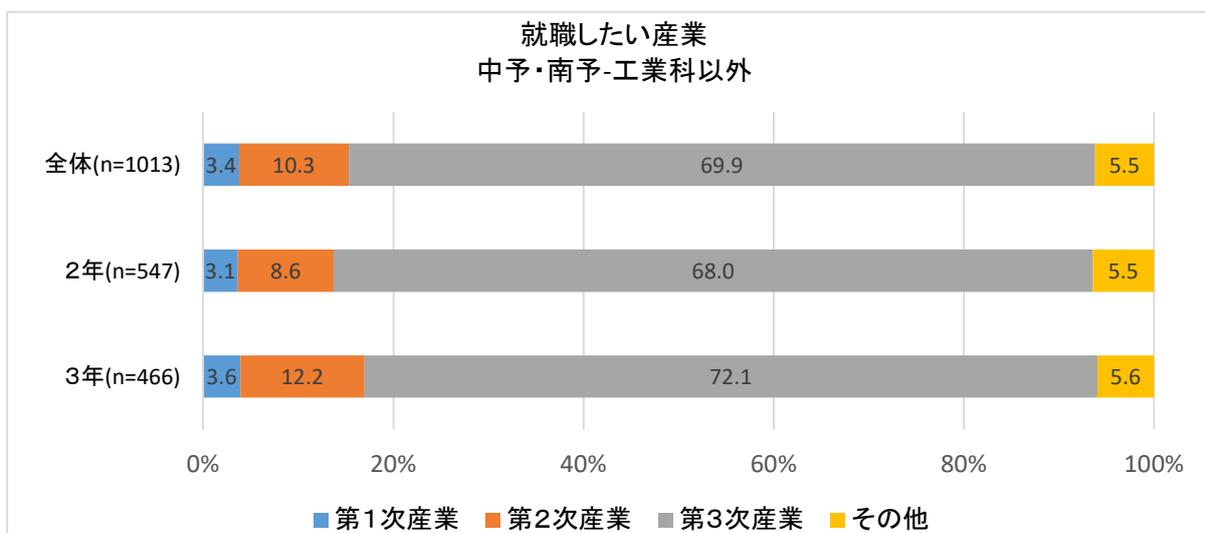
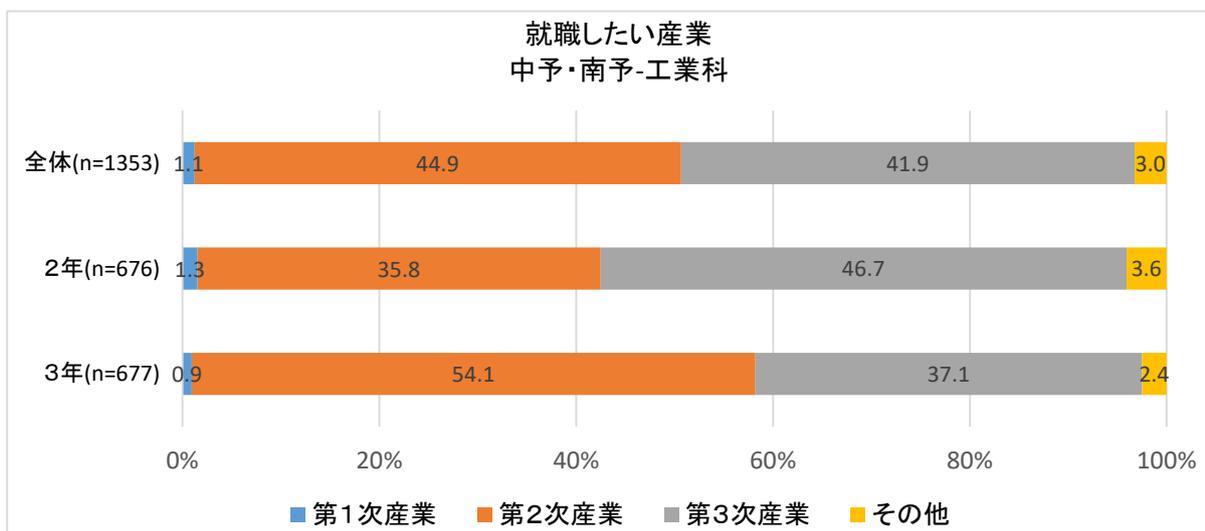
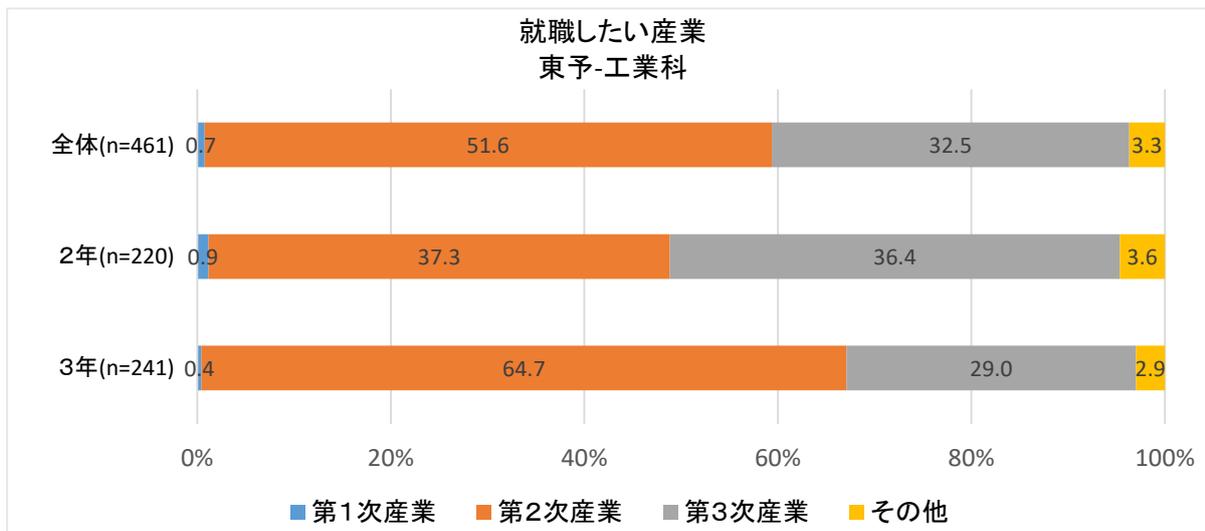


高校卒業後に希望する進路について尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体で「進学」が18.8%、「就職」が81.2%となった。学年別にみると、2年生は「進学」が19.2%、「就職」が80.8%、3年生は「進学」が18.4%、「就職」が81.6%となった。

中予・南予の工業科生徒は、全体で「進学」が25.9%、「就職」が74.1%となった。学年別にみると、2年生は「進学」が27.5%、「就職」が72.5%、3年生は「進学」が24.3%、「就職」が75.7%となった。

中予・南予の工業科以外の生徒は、全体で「進学」が61.5%、「就職」が38.5%となった。学年別にみると、2年生は「進学」が64.4%、「就職」が35.6%、3年生は「進学」が58.1%、「就職」が41.9%となった。

(2) 就職する（したい）分野の仕事

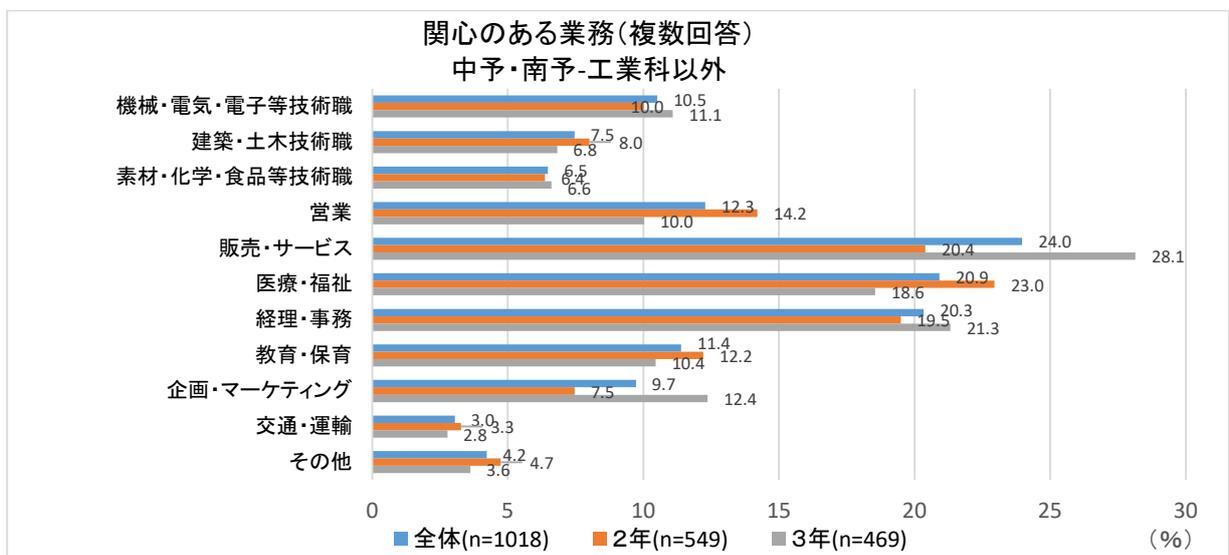
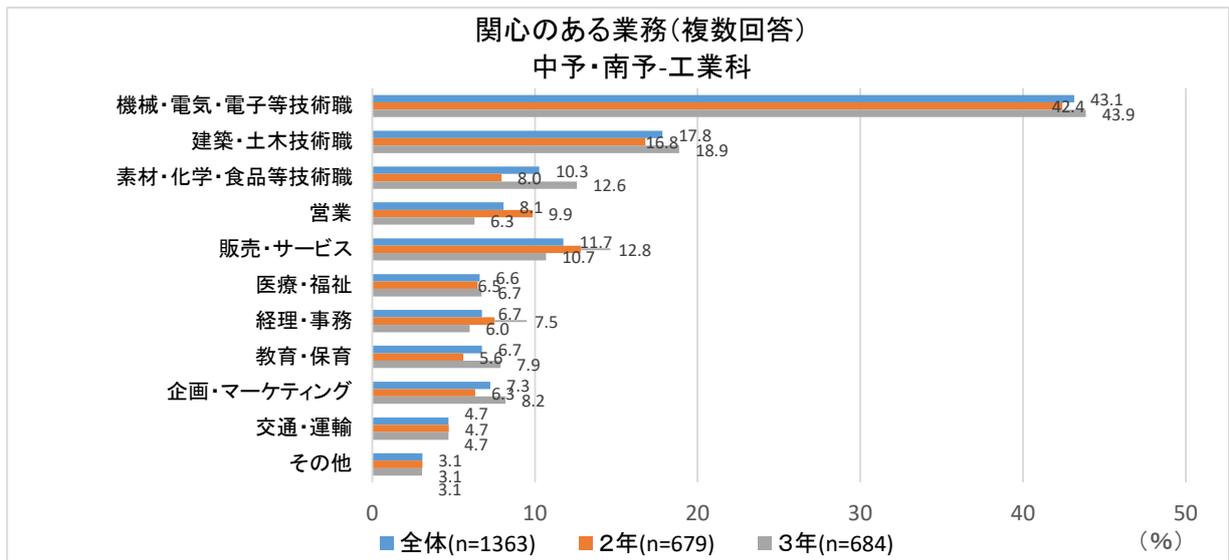
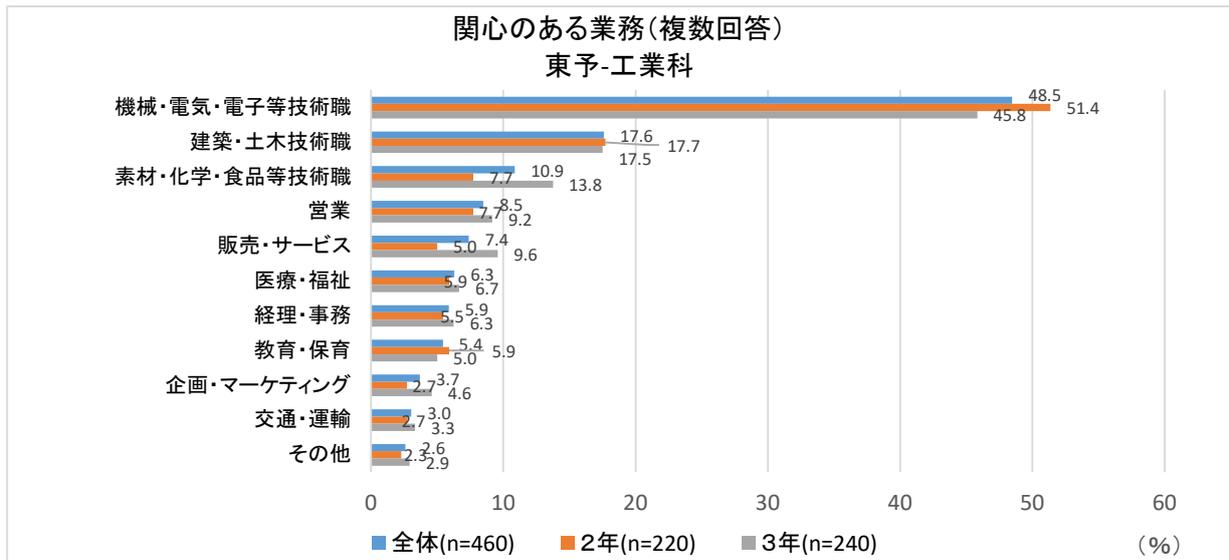


どのような分野の仕事に就職するか、または就職したいか尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体で「第2次産業」（鉱業、製造業、建設業）が51.6%、「第3次産業」（電気・ガス・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、公務員など）が32.5%、「第1次産業」（農業、林業、漁業）が0.7%となった。学年別にみると、就職先が決まったとみられる3年生は「第2次産業」が64.7%と高くなった。

中予・南予の工業科生徒は、全体で「第2次産業」が44.9%、「第3次産業」が41.9%、「第1次産業」が1.1%となり、東予の工業科生徒と比べ、「第2次産業」の割合が低くなった。学年別にみても、3年生の「第2次産業」は54.1%と東予の工業科生徒を10ポイント近く下回った。

中予・南予の工業科以外の生徒は、全体で「第2次産業」が10.3%、「第3次産業」が69.9%、「第1次産業」が3.4%となった。

(3) 関心のある業務

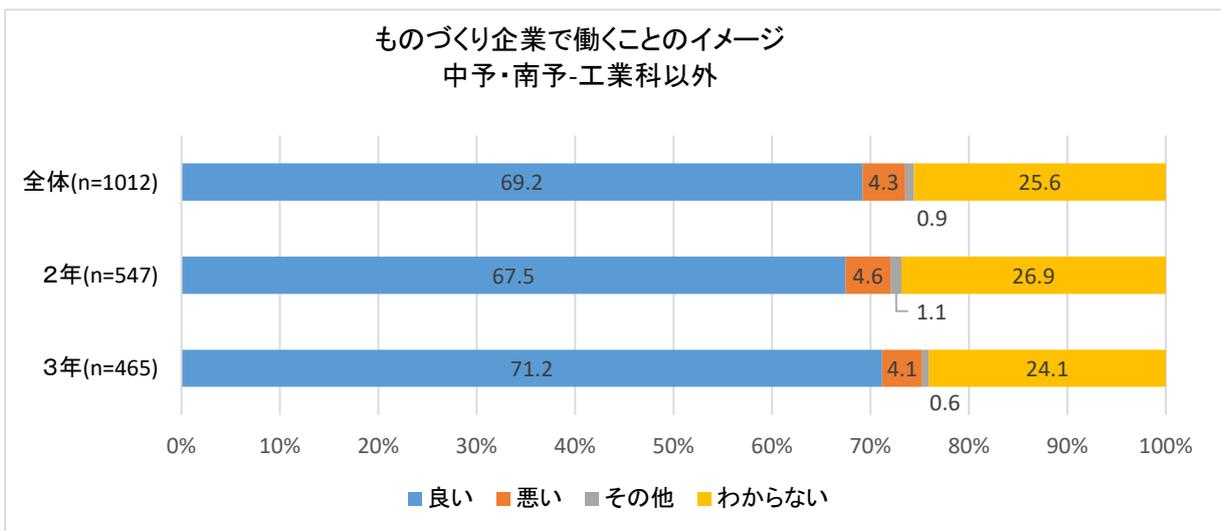
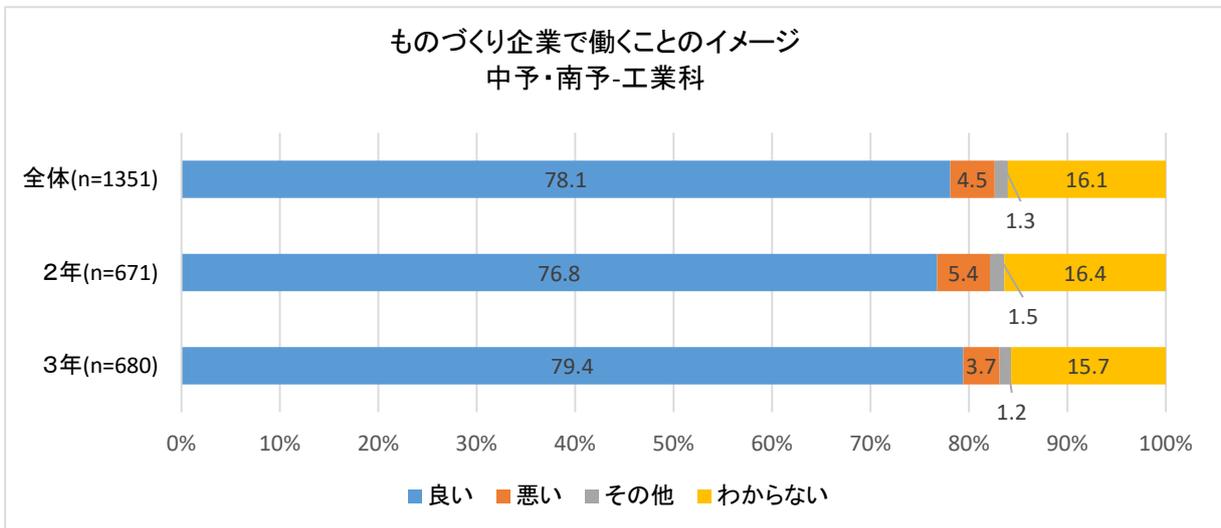
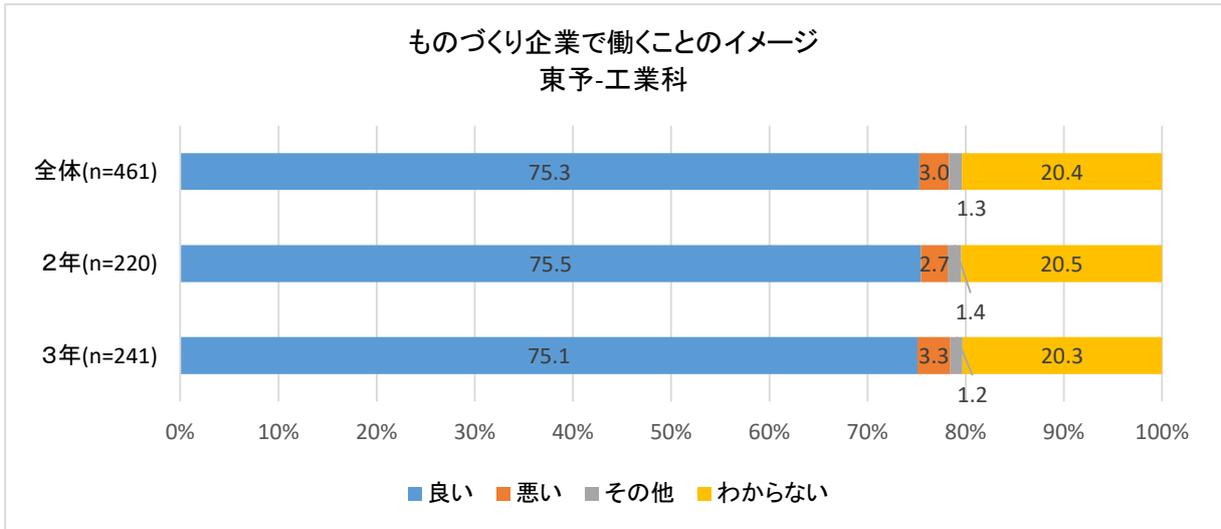


どのような種類の業務に関心があるか尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体では「機械・電気・電子等技術職」が48.5%で最も多く、「建築・土木技術職」が17.6%、「素材・科学・食品等技術職」が10.9%などとなった。

中予・南予の工業科生徒は、全体では「機械・電気・電子等技術職」が43.1%、「建築・土木技術職」が17.8%、「販売サービス」が11.7%、「素材・化学・食品等技術職」が10.3%などとなった。

中予・南予の工業科以外の生徒は、全体で「販売・サービス」が24.0%、「医療・福祉」が20.9%、「経理・事務」が20.3%、「営業」が12.3%などとなった。

(4) 「ものづくり企業で働くこと」に対するイメージ



製造業や建設業などの「ものづくり企業で働くこと」にどのようなイメージを持っているか（ものづくり企業以外への就職が決まっている生徒も、イメージで回答）尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体では「良い」が75.3%、「悪い」が3.0%となり、学年別にみてもほとんど差異はなかった。

中予・南予の工業科生徒は、全体では「良い」が78.1%、「悪い」が4.5%となった。また、学年別の差異はほとんどみられなかった。

中予・南予の工業科以外の生徒は、全体では「良い」が69.2%、「悪い」が4.3%となり、工業科生徒と比べ「良い」イメージを持つ生徒の割合が低かった。また「わからない」という割合が4分の1を占めた。

➤ 「ものづくり企業で働くこと」に対するイメージ（自由意見）

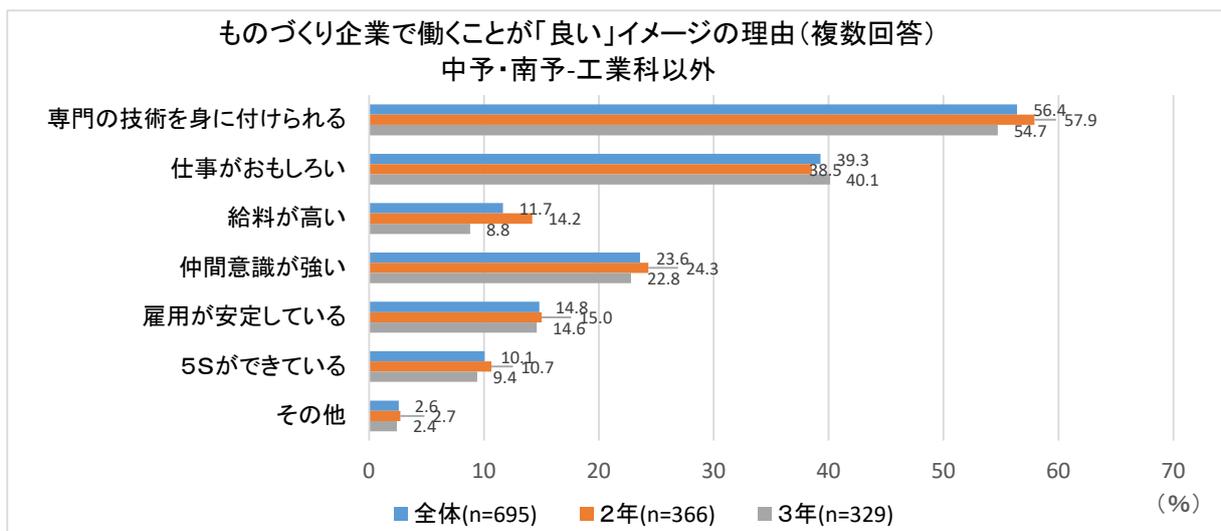
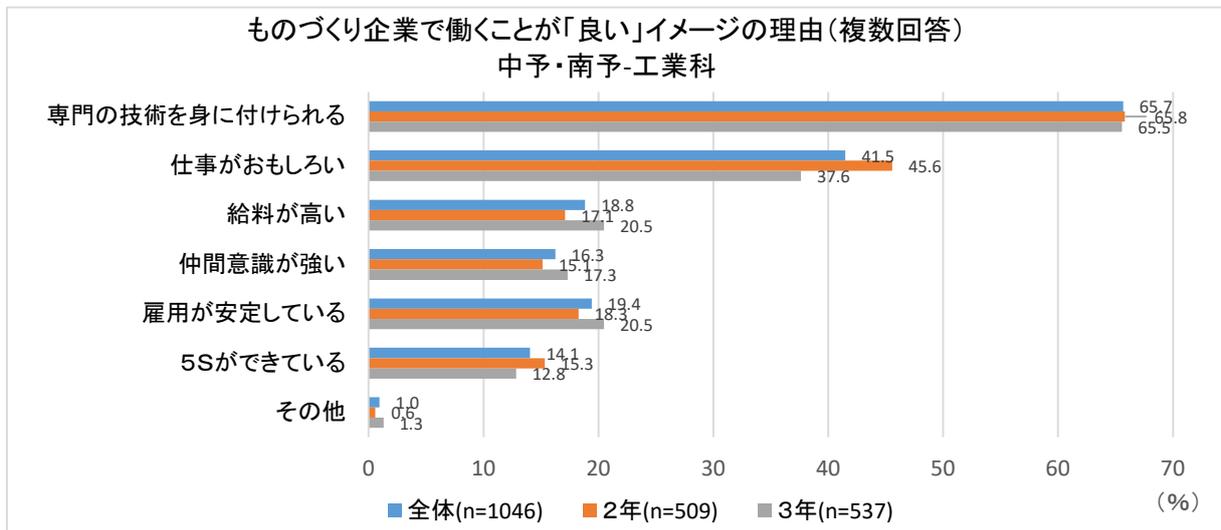
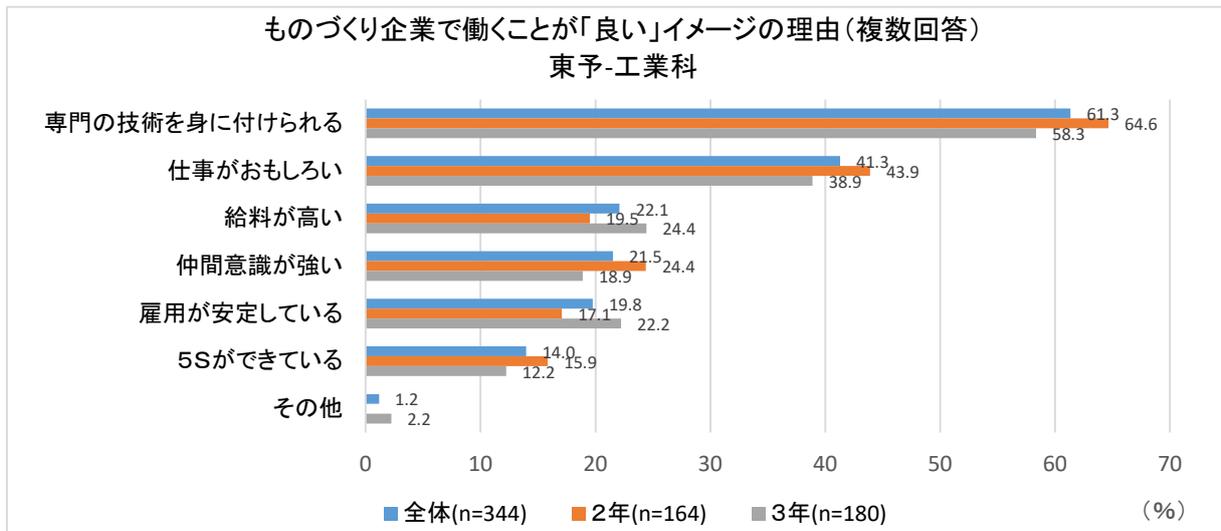
< マイナスのイメージ >

- ・ 人手不足
- ・ 大変そう
- ・ 危険

< プラスのイメージ >

- ・ 大変だがやりがいをもって働ける

(5) ものづくり企業で働くことが「良い」イメージの理由

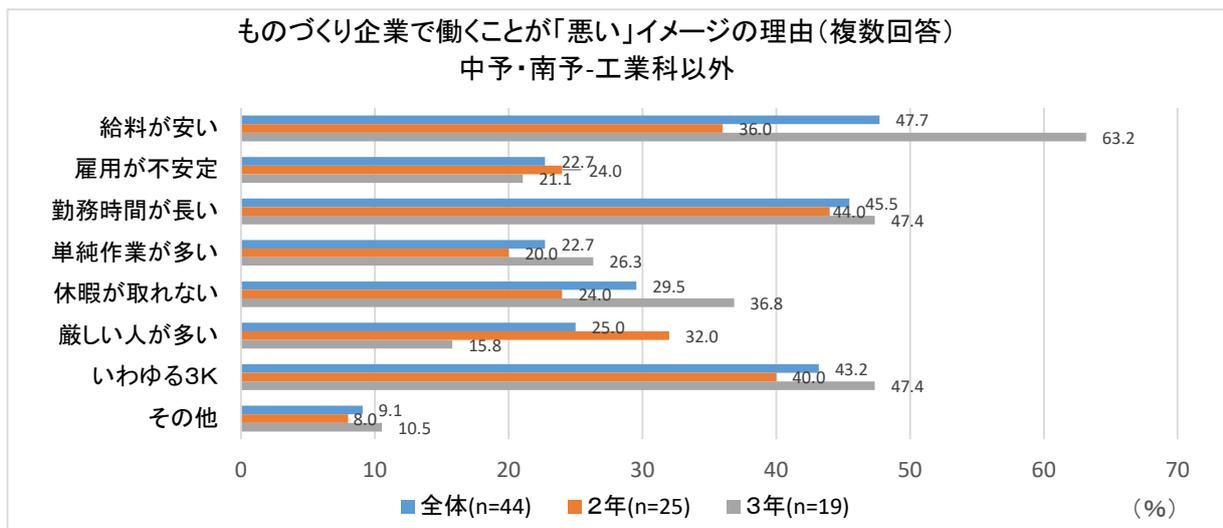
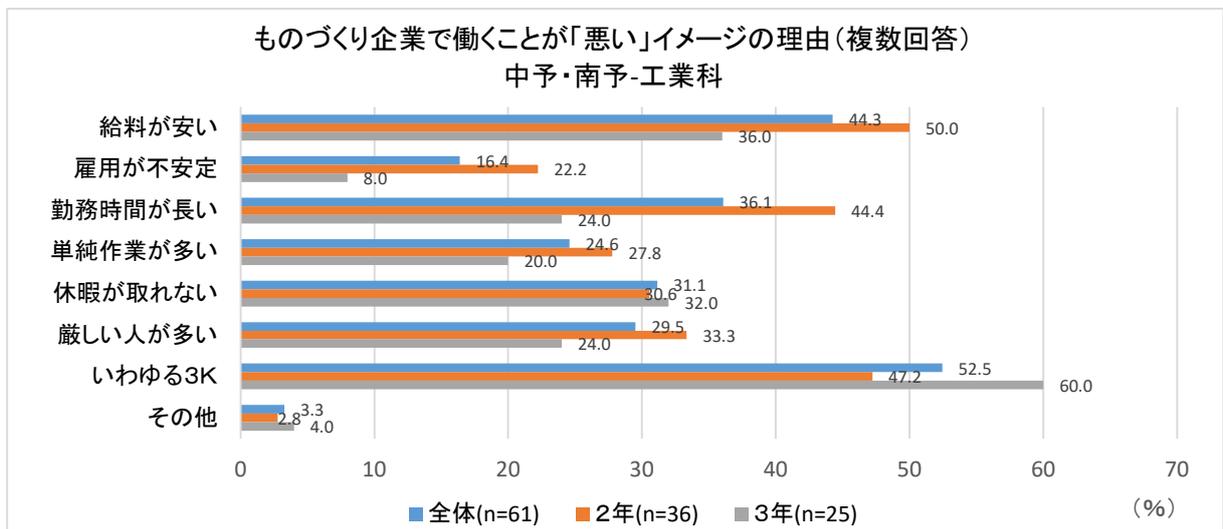
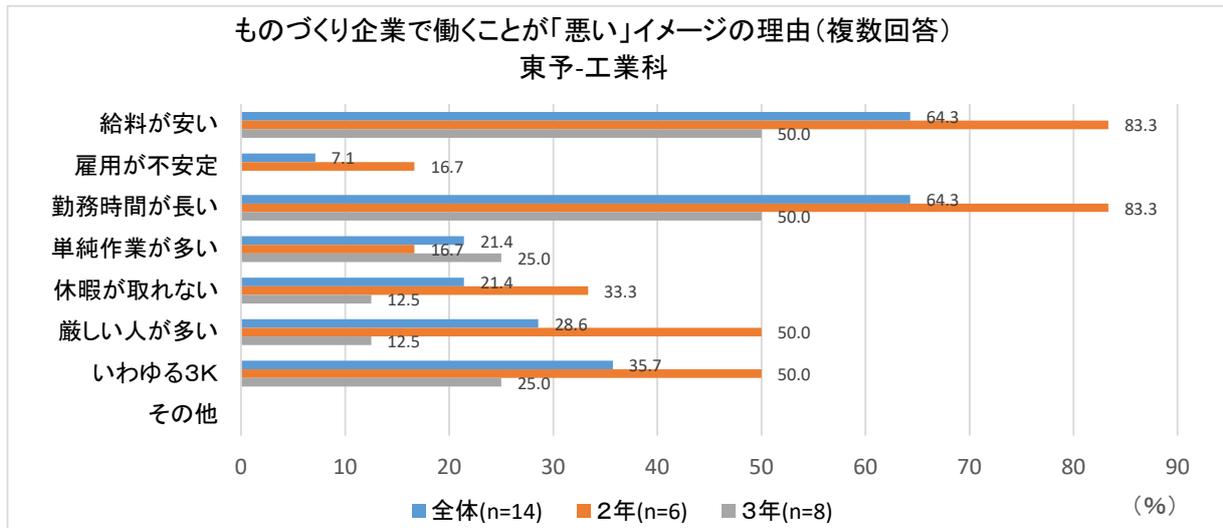


前問にて、ものづくり企業で働くことが「良い」イメージと回答した生徒に、その理由を尋ねたところ、総じて「専門の技術を身に付けられる」という割合が6割前後、「仕事がおもしろい」が4割前後を占めた。工業科生徒は「給料が高い」という割合が2割前後だったのに対し、工業科以外の生徒は、1割程度にとどまった。一方で、工業科以外の生徒は「仲間意識が強い」という割合が2割強を占めた。

▶ ものづくり企業で働くことが「良い」イメージの理由（自由意見）

- ・技術が向上し、日本が発展することができる
- ・なくてはならない仕事
- ・やりがいがある
- ・職場内の雰囲気がよさそう
- ・常に安全意識をもって作業している
- ・達成感がある
- ・日々の生活を支える大切なことだから
- ・大きな工場や大きな企業で安定している
- ・社会の基礎を作れる

(6) ものづくり企業で働くことが「悪い」イメージの理由



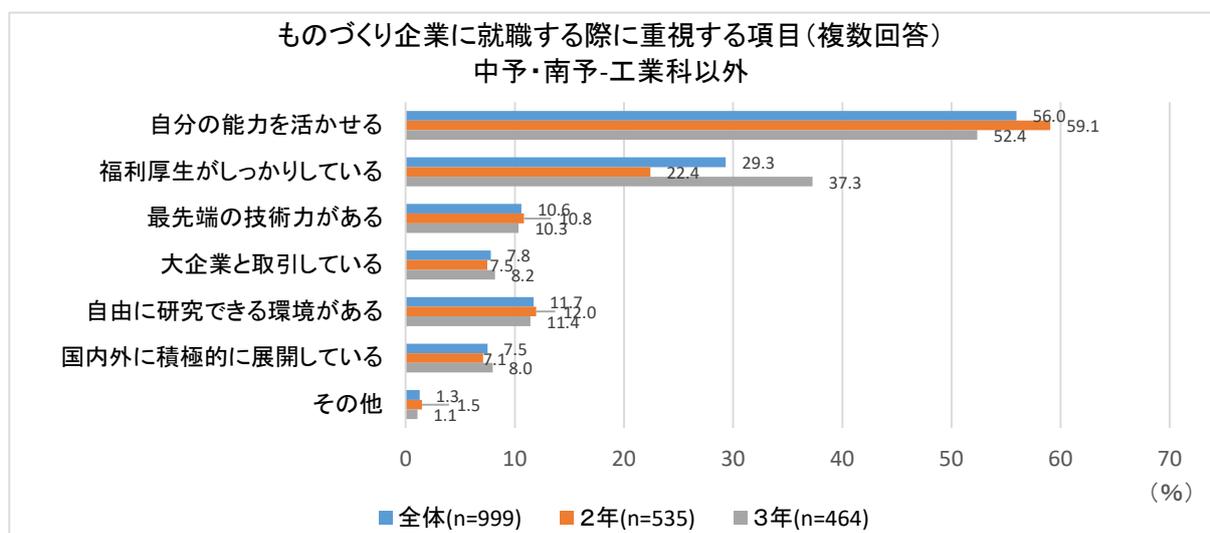
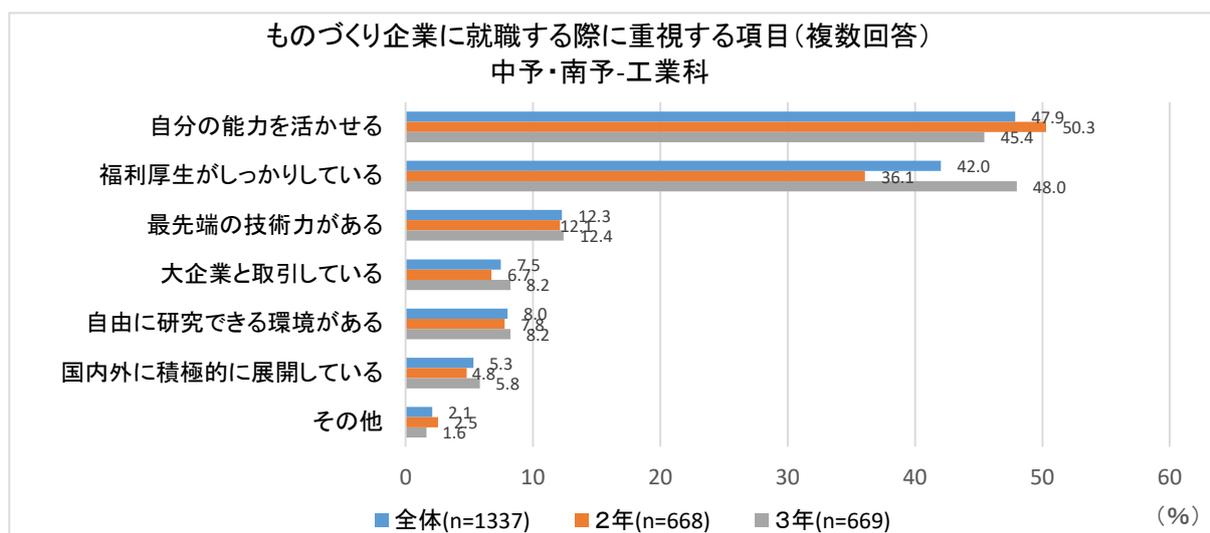
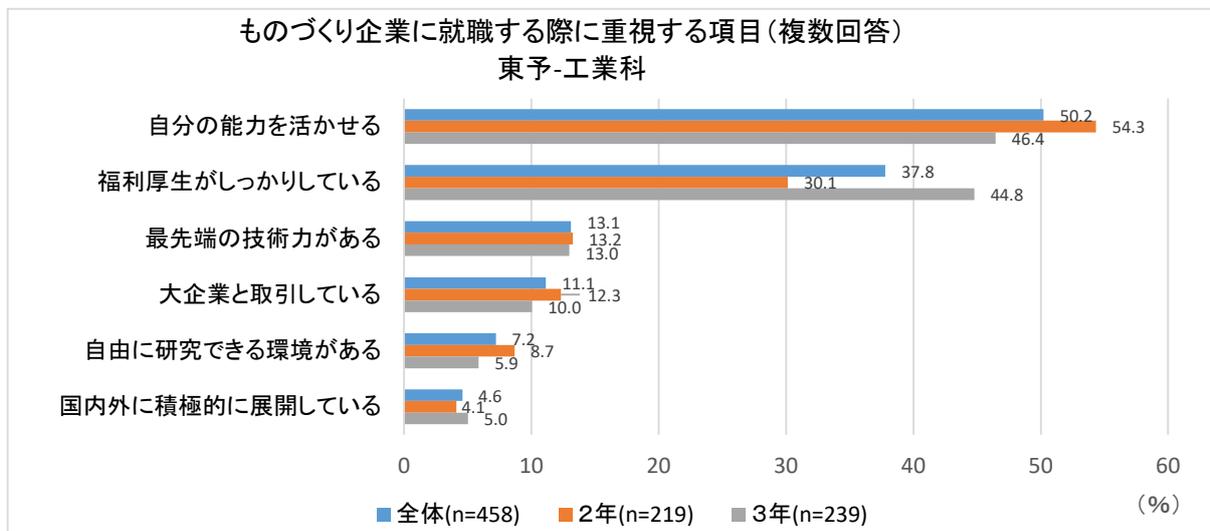
前問にて、ものづくり企業で働くことが「悪い」イメージと回答した生徒に、その理由を尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体では「給料が安い」と「勤務時間が長い」がそれぞれ6割強を占めた。中予・南予の工業科生徒は、全体では「いわゆる3K」が52.5%、「給料が安い」が44.3%などとなった。

中予・南予の工業科以外の生徒は、「給料が安い」「勤務時間が長い」「いわゆる3K」がそれぞれ4割強を占めた。

➤ ものづくり企業で働くことが「悪い」イメージの理由（自由意見）

- ・ノルマが過酷そう
- ・やりがいを感じられない
- ・パワハラありそう
- ・人手不足による勤務環境が悪そう

(7) ものづくり企業を就職先とする場合、勤務条件（給料、労働時間や休日数）以外で重視する項目



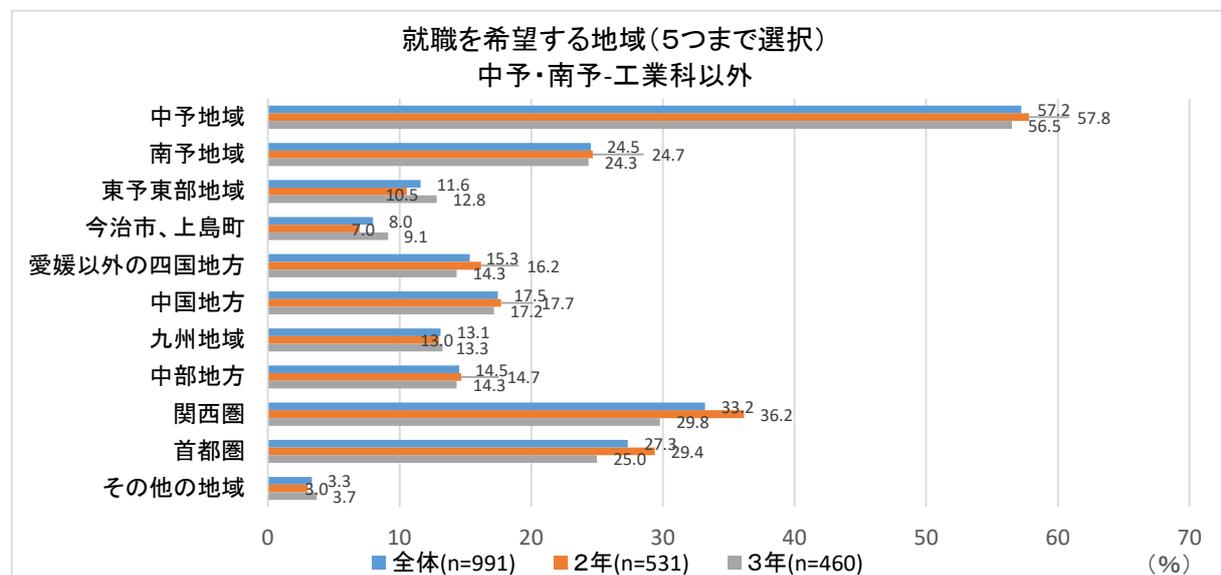
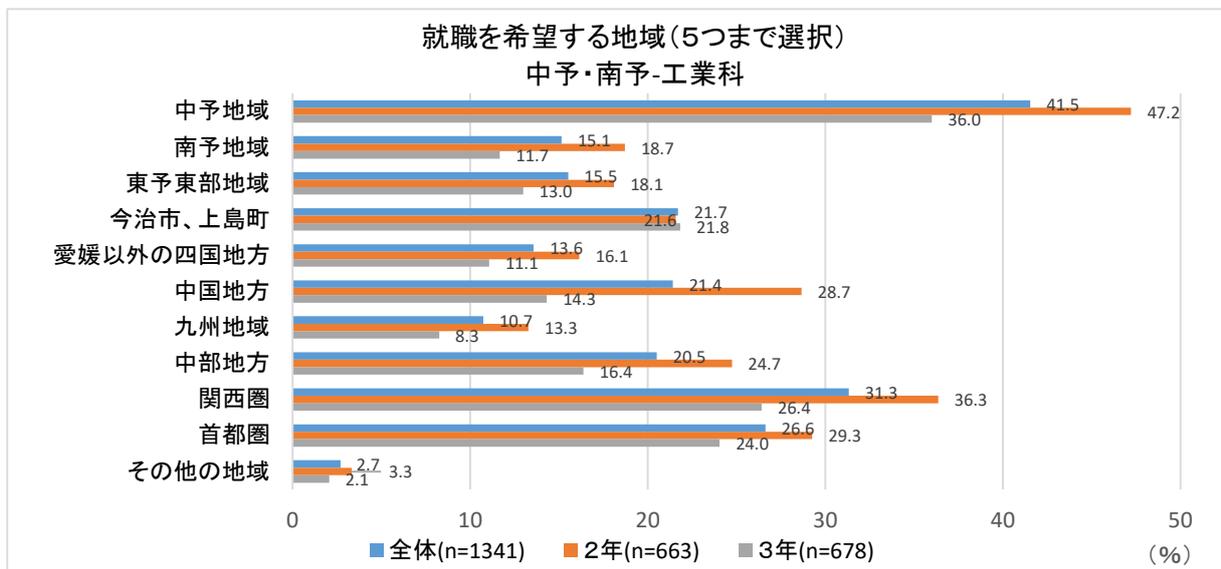
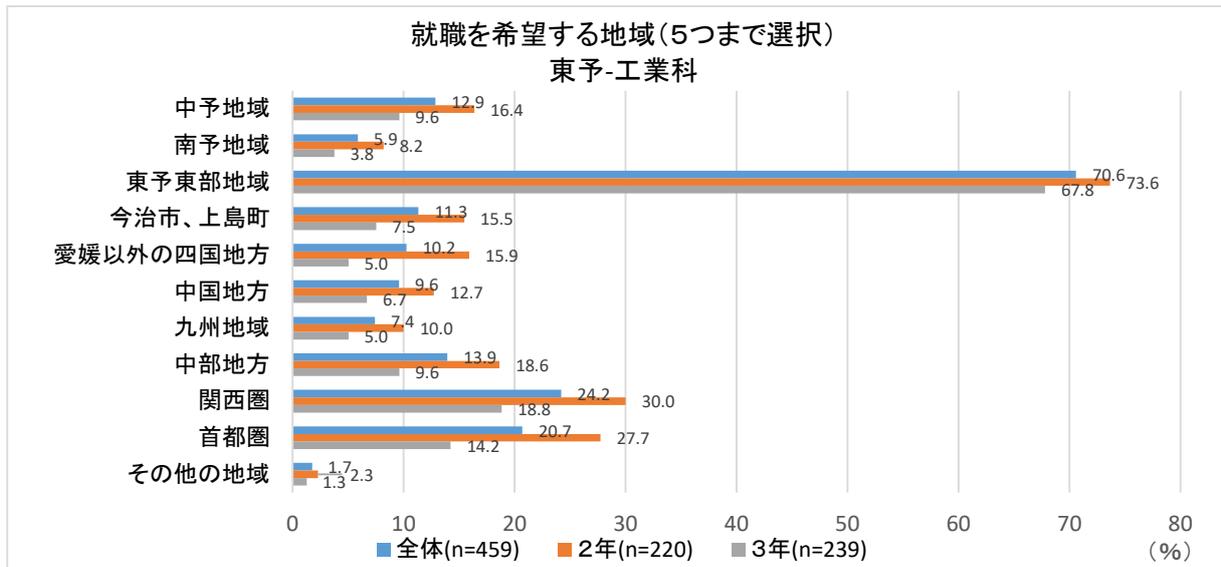
仮にものづくり企業を就職先とする場合、勤務条件（給料、労働時間や休日数）以外で重視する項目を尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体では「自分の能力を活かせる」が 50.2%、「福利厚生がしっかりしている」が 37.8%などとなった。「最先端の技術力がある」「大企業と取引している」は、それぞれ1割程度だった。学年別にみると、2年生は「自分の能力を活かせる」が 54.3%、「福利厚生がしっかりしている」が 30.1%などとなった。3年生は「自分の能力を活かせる」が 46.4%、「福利厚生がしっかりしている」が 44.8%などとなった。

中予・南予の工業科生徒は、全体では「自分の能力を活かせる」が 47.9%、「福利厚生がしっかりしている」が 42.0%などとなった。また、中予・南予の工業科以外の生徒は、全体では「自分の能力を活かせる」が 56.0%、「福利厚生がしっかりしている」が 29.3%などとなった。

なお、全体的に「福利厚生がしっかりしている」という割合が、2年生より3年生で10ポイント以上高くなる傾向がみられた。

- ものづくり企業を就職先とする場合、勤務条件（給料、労働時間や休日数）以外で重視する項目（自由意見）
- ・どのような人が何を作っていて、そのモノは素晴らしいものかどうか
  - ・自分のしたい仕事かどうか、やりがい
  - ・人間関係
  - ・休みが多いかどうか
  - ・安全対策
  - ・未来性のある企業

(8) 就職を希望する地域

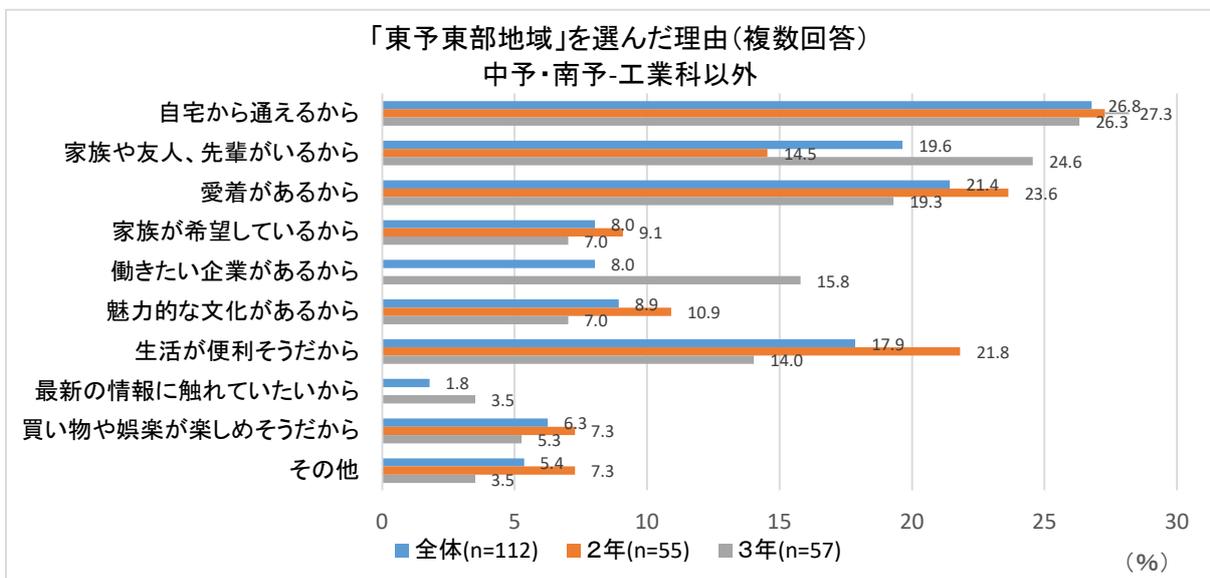
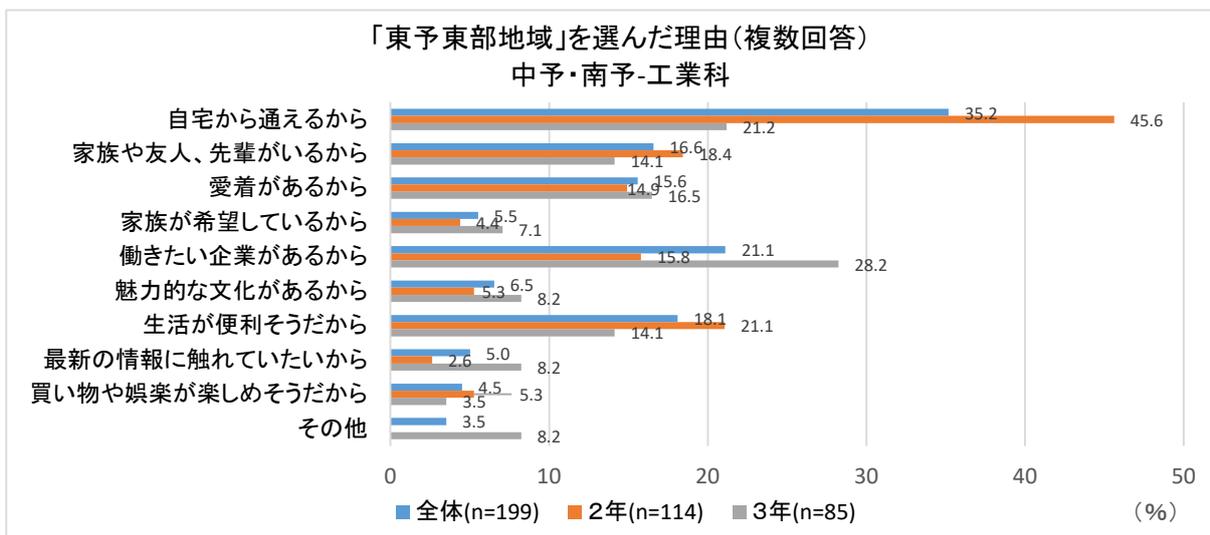
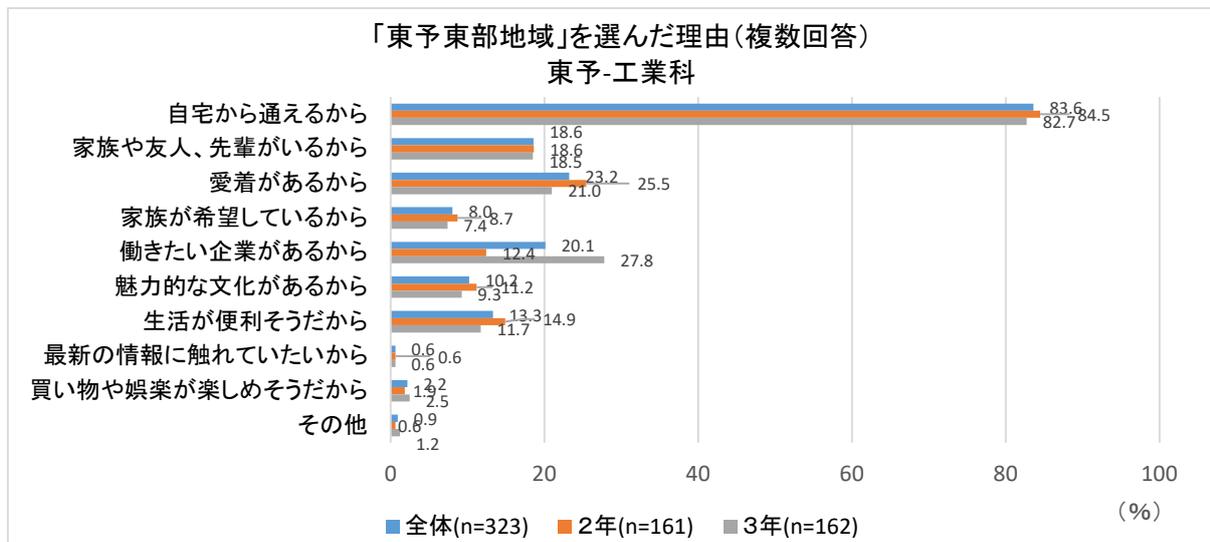


就職を希望する地域（２年生）、または就職を決めた地域（３年生）について尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体で「東予東部地域」が 70.6%、「関西圏」が 24.2%、「首都圏」が 20.7%などとなった。学年別にみると、２年生は「東予東部地域」が 73.6%、「関西圏」が 30.0%、「首都圏」が 27.7%などと県外志向が高くなり、３年生は「東予東部地域」が 67.8%、「関西圏」が 18.8%、「首都圏」が 14.2%と、県外の割合が下がっている。

中予・南予の工業科生徒は、全体では「中予地域」が 41.5%、「関西圏」が 31.3%、「首都圏」が 26.6%などとなった。「東予東部地域」は、全体では 15.5%、２年生は 18.1%、３年生は 13.0%にとどまった。

中予・南予の工業科以外の生徒は、全体では「中予地域」が 57.2%、「関西圏」が 33.2%、「首都圏」が 27.3%などとなった。「東予東部地域」は、全体では 11.6%、２年生は 10.5%、３年生は 12.8%となった。

(9)「就職を希望する地域」で「東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）」を選択した理由

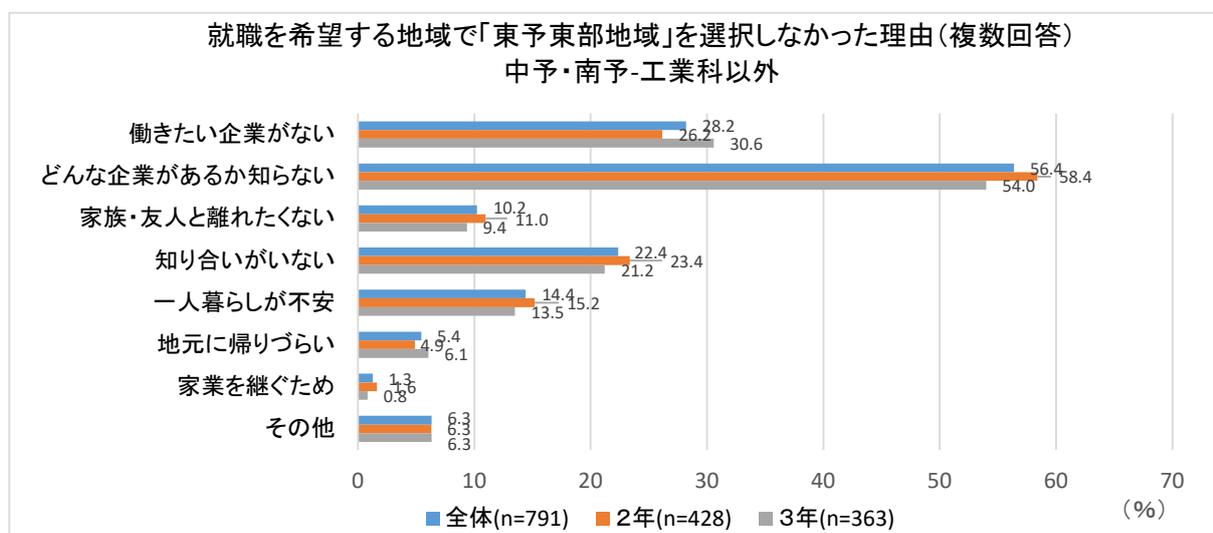
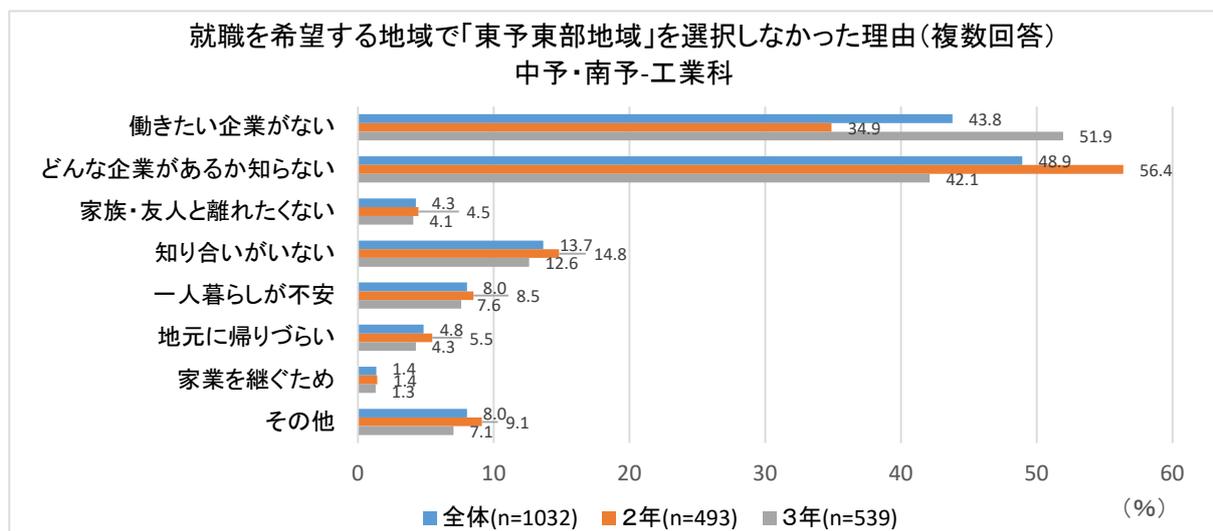
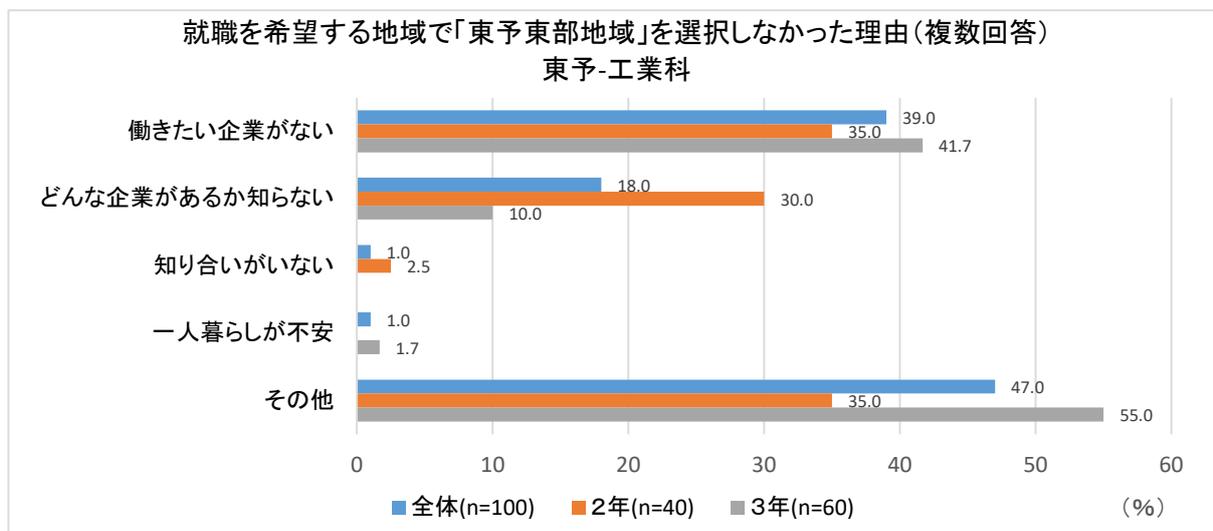


就職を希望する地域（2年生）、または就職を決めた地域（3年生）として「東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）」を選択した理由について尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体で「自宅から通えるから」が8割強を占め、「愛着があるから」「働きたい企業があるから」が2割程度となった。このうち、「働きたい企業があるから」は、2年生は12.4%に対し、3年生は27.8%と高かった。

中予・南予の工業科生徒は、全体では「自宅から通えるから」が35.2%、「働きたい企業があるから」が21.1%などとなった。「働きたい企業があるから」は、2年生が15.8%、3年生が28.2%となった。

中予・南予の工業科以外の生徒は、全体では「自宅から通えるから」が26.8%、「愛着があるから」21.4%、「生活が便利そうだから」17.9%などとなった。「働きたい企業があるから」は、8.0%にとどまり、2年生は0%、3年生では15.8%となった。

(10) 「就職を希望する地域」で「東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）」を選択しなかった理由



前問にて、「就職を希望する地域」で「東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）」を選択しなかった理由について尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体では「働きたい企業がない」が39.0%、2年生は「働きたい企業がない」が35.0%、「どんな企業があるか知らない」が30.0%だった。

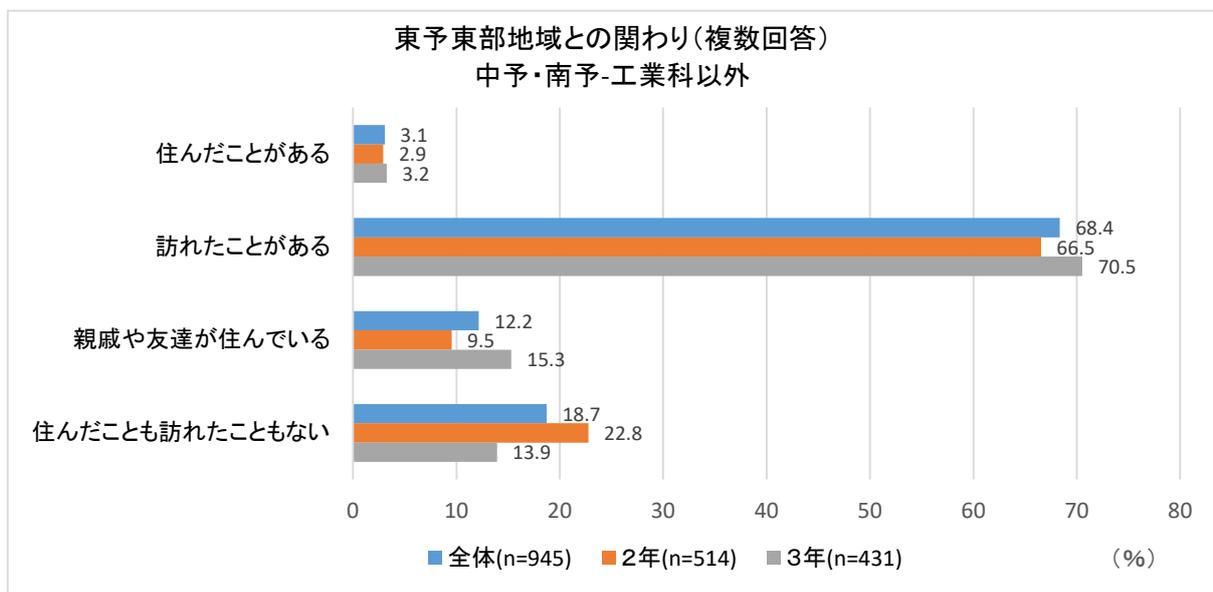
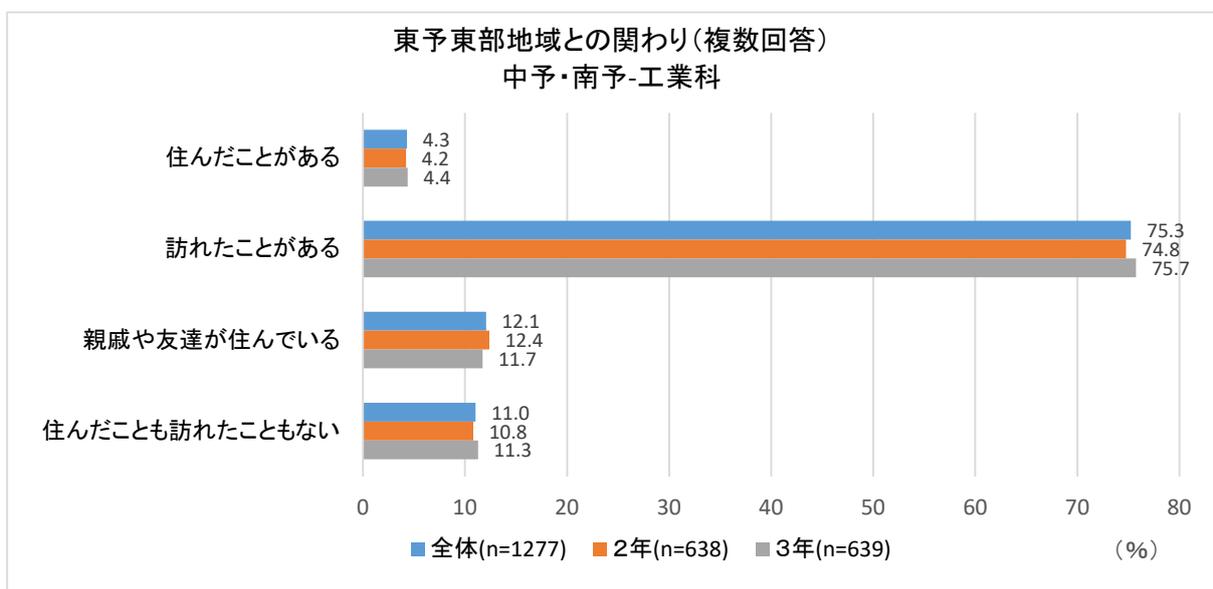
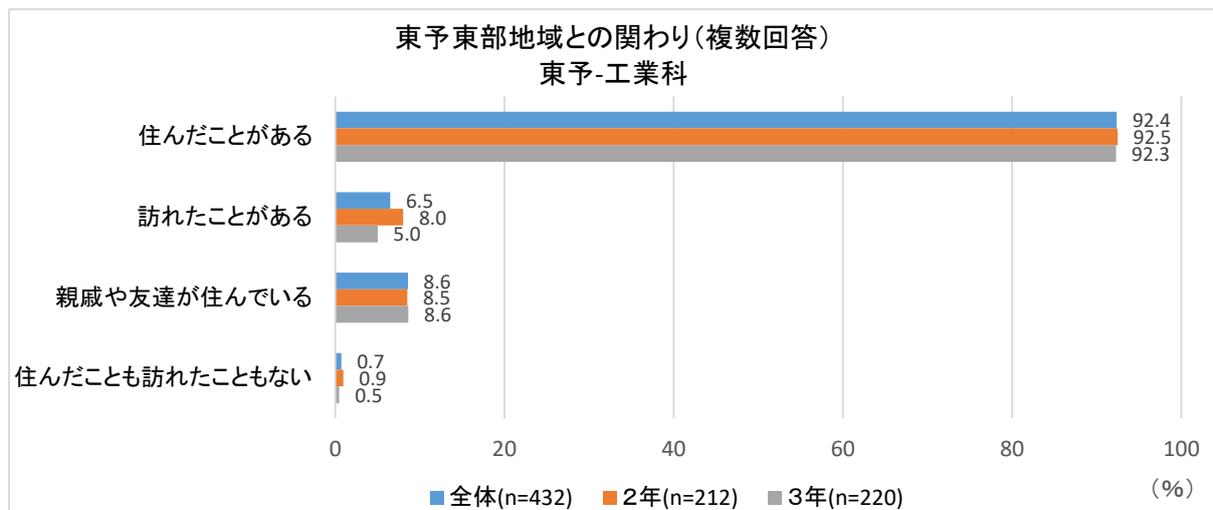
中予・南予の工業科生徒は、全体では「どんな企業があるか知らない」が48.9%、「働きたい企業がない」が43.8%などとなった。3年生の「働きたい企業がない」という割合は5割以上だった。「家族・友人と離れたくない」「一人暮らしが不安」は、1割以下だった。

中予・南予の工業科以外の生徒は、全体では「どんな企業があるか知らない」が56.4%、「働きたい企業がない」が28.2%、「知り合いがいない」22.4%などとなった。

➤ 「就職を希望する地域」で「東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）」を選択しなかった理由（自由意見）

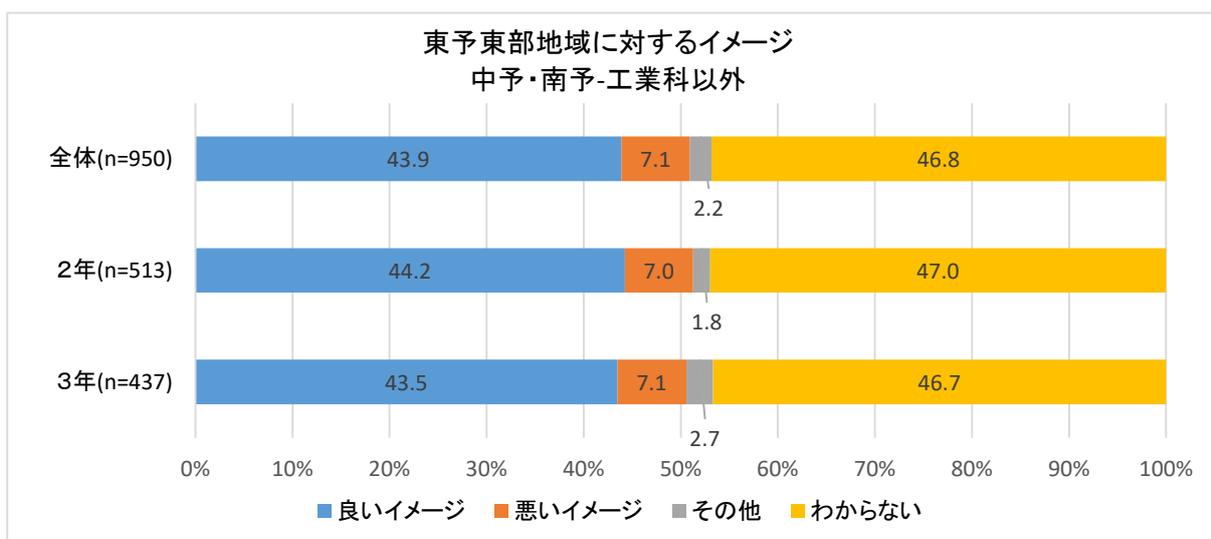
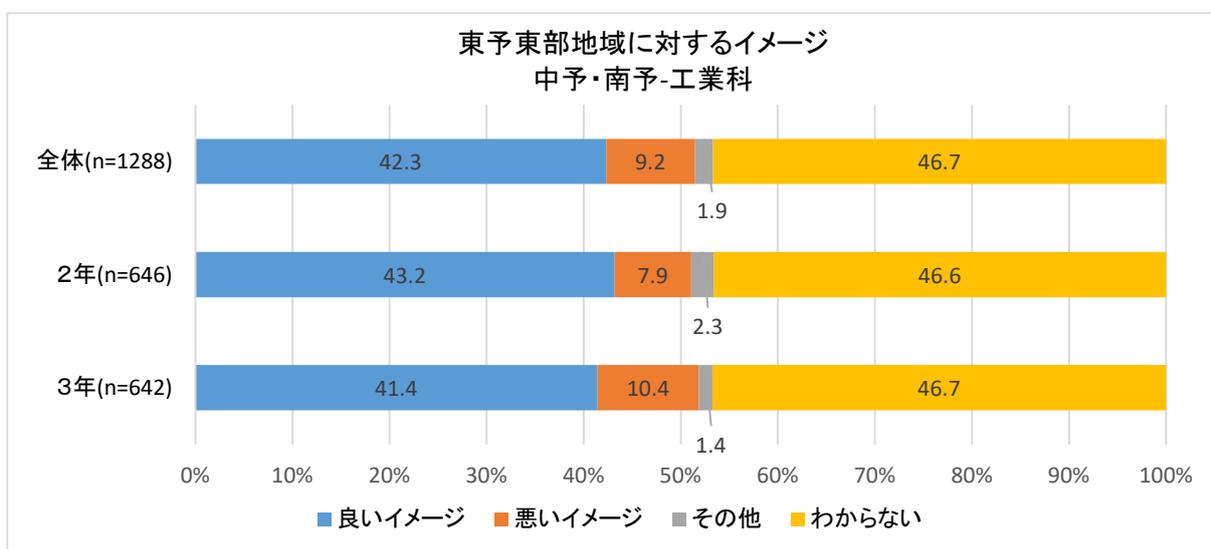
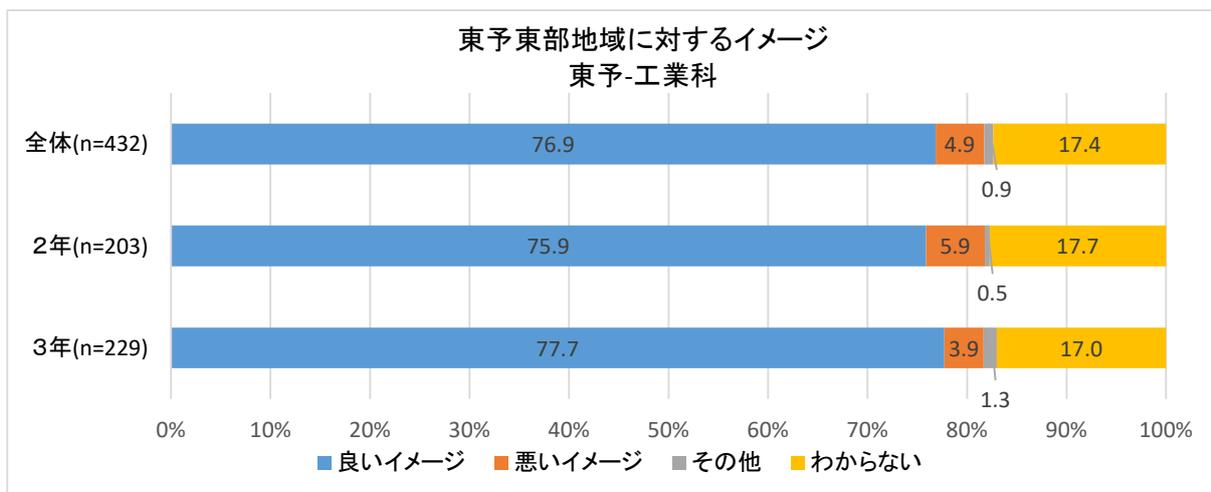
- ・イメージが悪い
- ・行きたかったが良い企業が無かった
- ・遠い
- ・東予地域のことをあまり知らない
- ・興味がない
- ・魅力を感じない
- ・治安が悪そう
- ・どのような企業があるかわからない
- ・買い物できるところが少なそう
- ・県外に出たい

(11) 東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）との関わり



東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）との関わりについて尋ねたところ、中予・南予の生徒は、「訪れたことがある」が7割程度を占めた一方、「住んだことも訪れたこともない」も1割程度あった。

(12) 東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）に対するイメージ



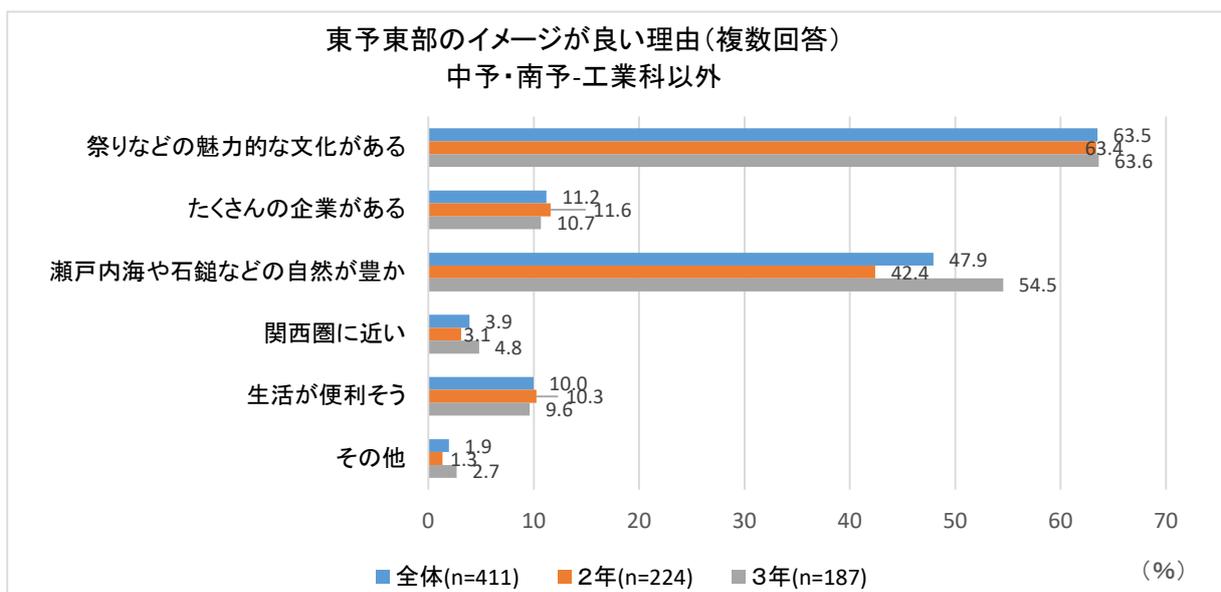
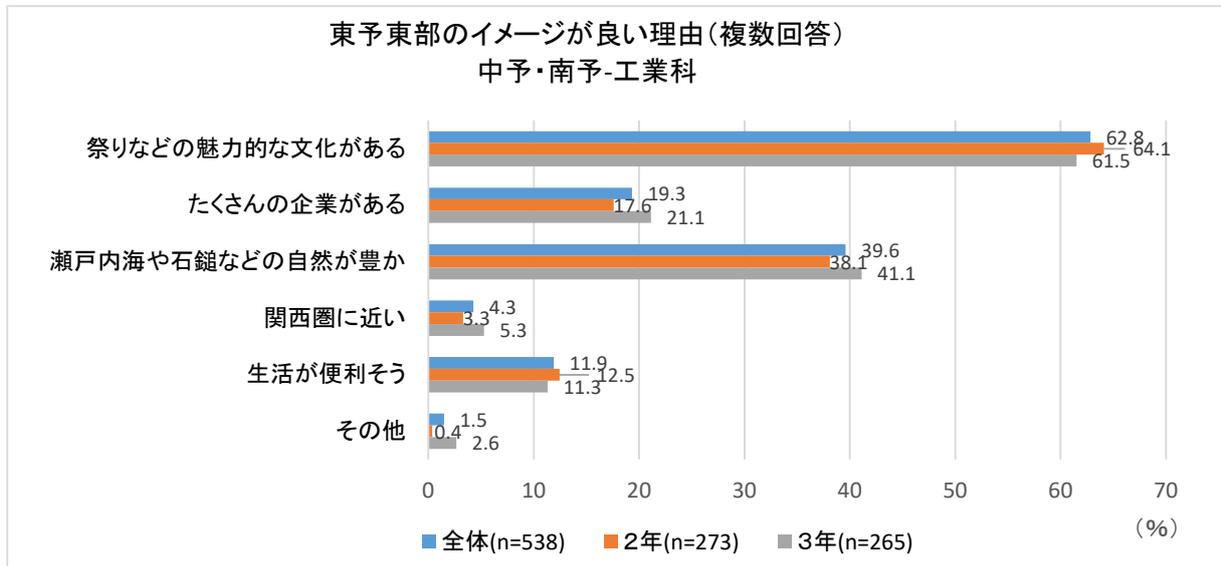
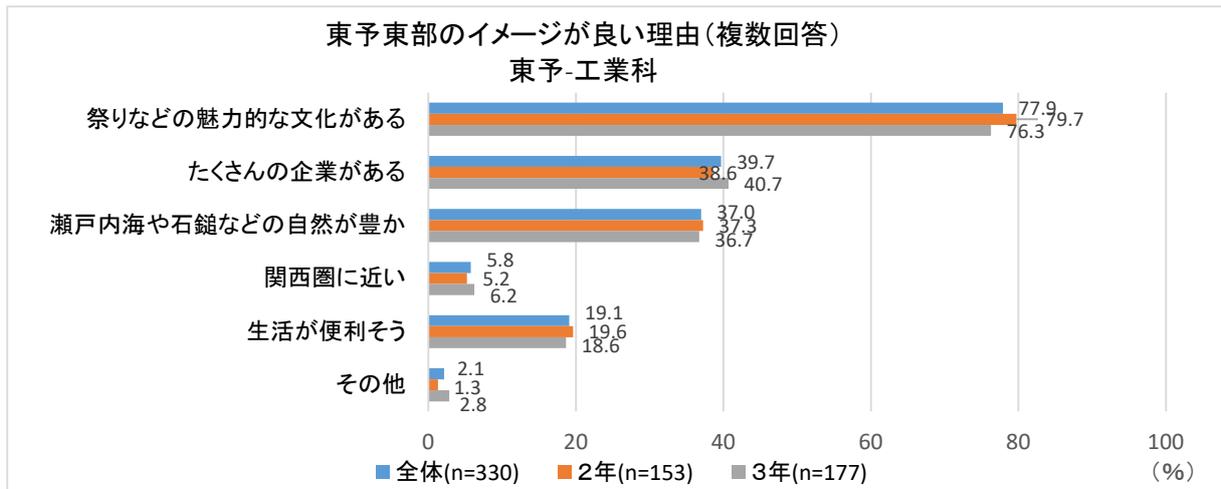
東予東部地域にどのようなイメージを持っているか尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体では「良いイメージ」が76.9%、「悪いイメージ」が4.9%で学年による差異はほとんどみられなかった。

中予・南予の生徒は、「良いイメージ」が4割強に対し、「悪いイメージ」が1割前後だった。「わからない」という割合も4割以上あり、地域の認知度不足がうかがえる。

➤ 東予東部地域（新居浜市・西条市・四国中央市）に対するイメージ（自由意見）

- ・工場が多い
- ・興味がない
- ・何もない
- ・においがきつそう
- ・お祭り
- ・言い方がきつい

(13) 東予東部地域のイメージが「良い」と回答した理由



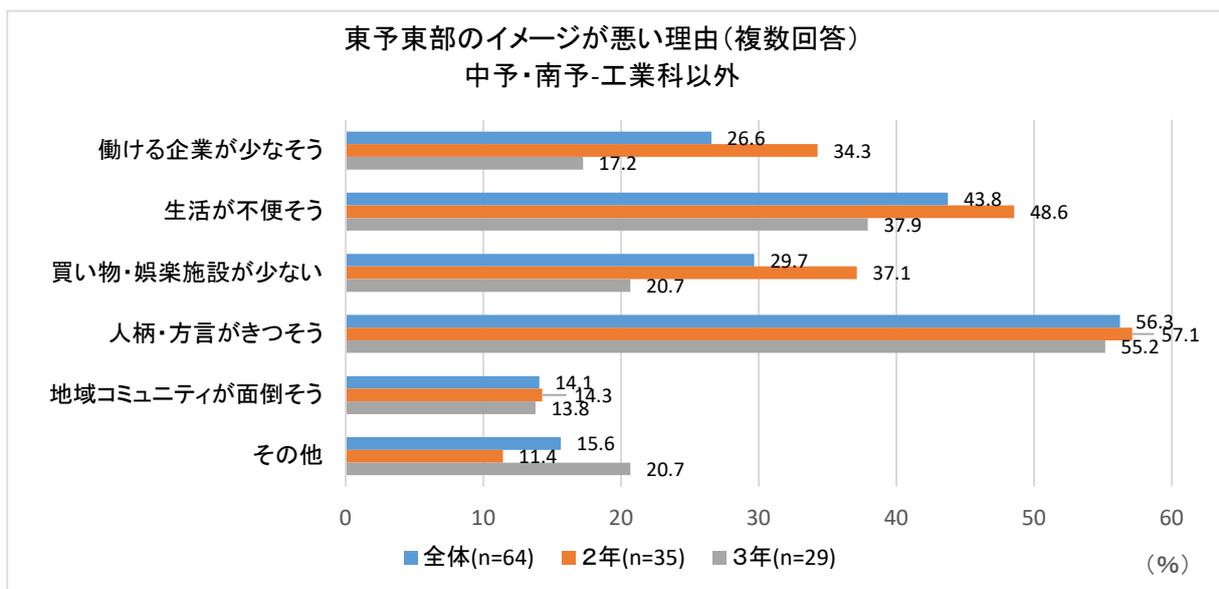
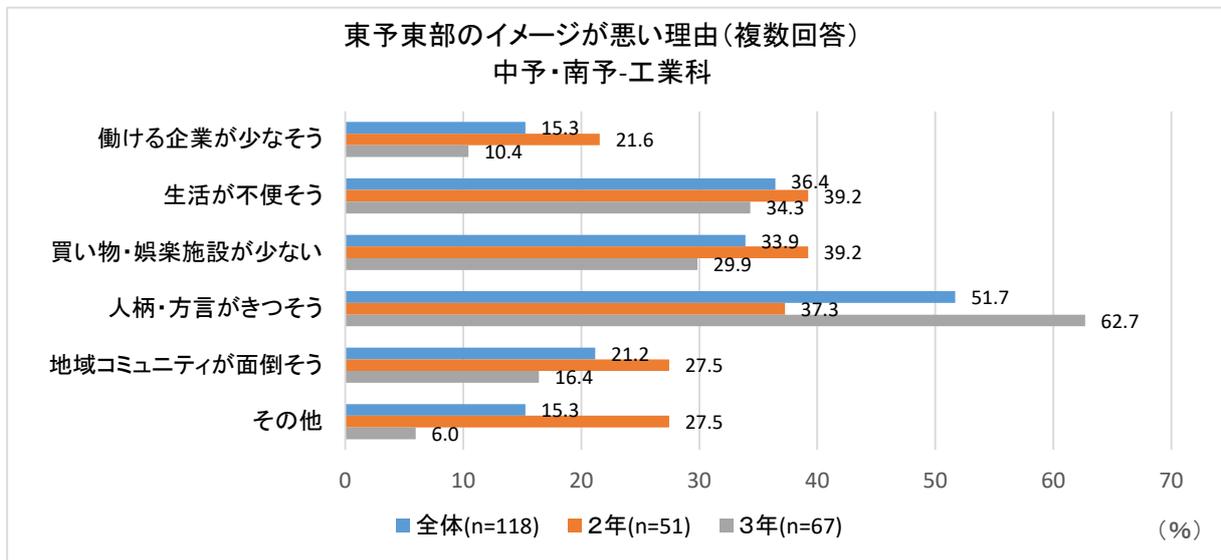
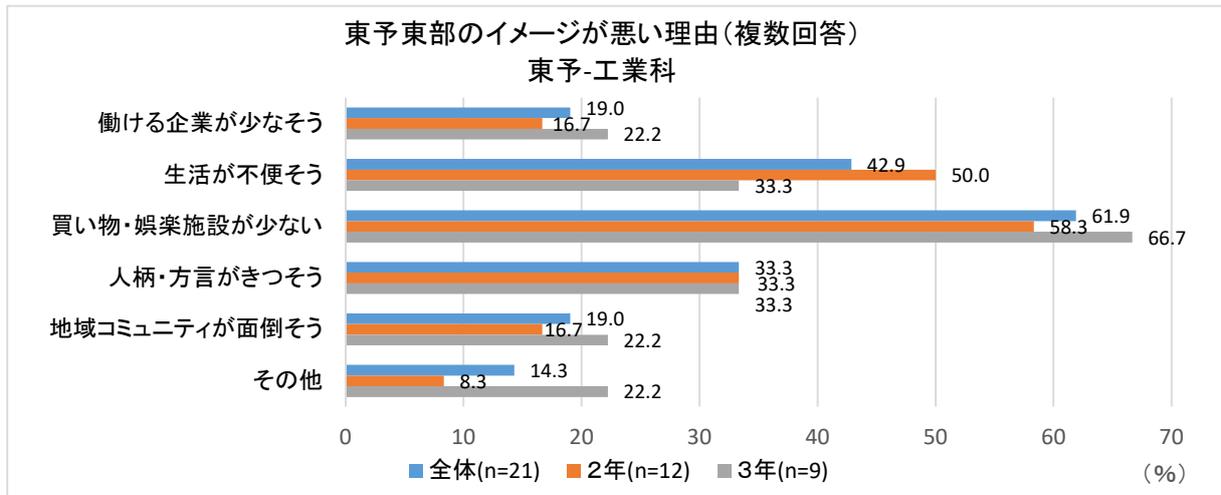
前問で、東予東部地域に「良いイメージ」を持つと答えた生徒に、その理由を尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体で「祭りなどの魅力的な文化がある」が77.9%、「たくさんの企業がある」が39.7%、「瀬戸内海や石鎚などの自然が豊か」が37.0%などとなり、学年による差異はほとんどみられなかった。

中予・南予の生徒は、「祭りなどの魅力的な文化がある」が6割以上を占め、「瀬戸内海や石鎚などの自然が豊か」も3～4割あった。一方、「たくさんの企業がある」は、工業科生徒で2割前後、工業科以外の生徒は1割強にとどまり、「生活が便利そう」がほぼ同等だった。

➤ 東予東部地域のイメージが「良い」と回答した理由（自由意見）

- ・ 地域のつながりがしっかりしている
- ・ 気候が良い

(14) 東予東部地域のイメージが「悪い」と回答した理由



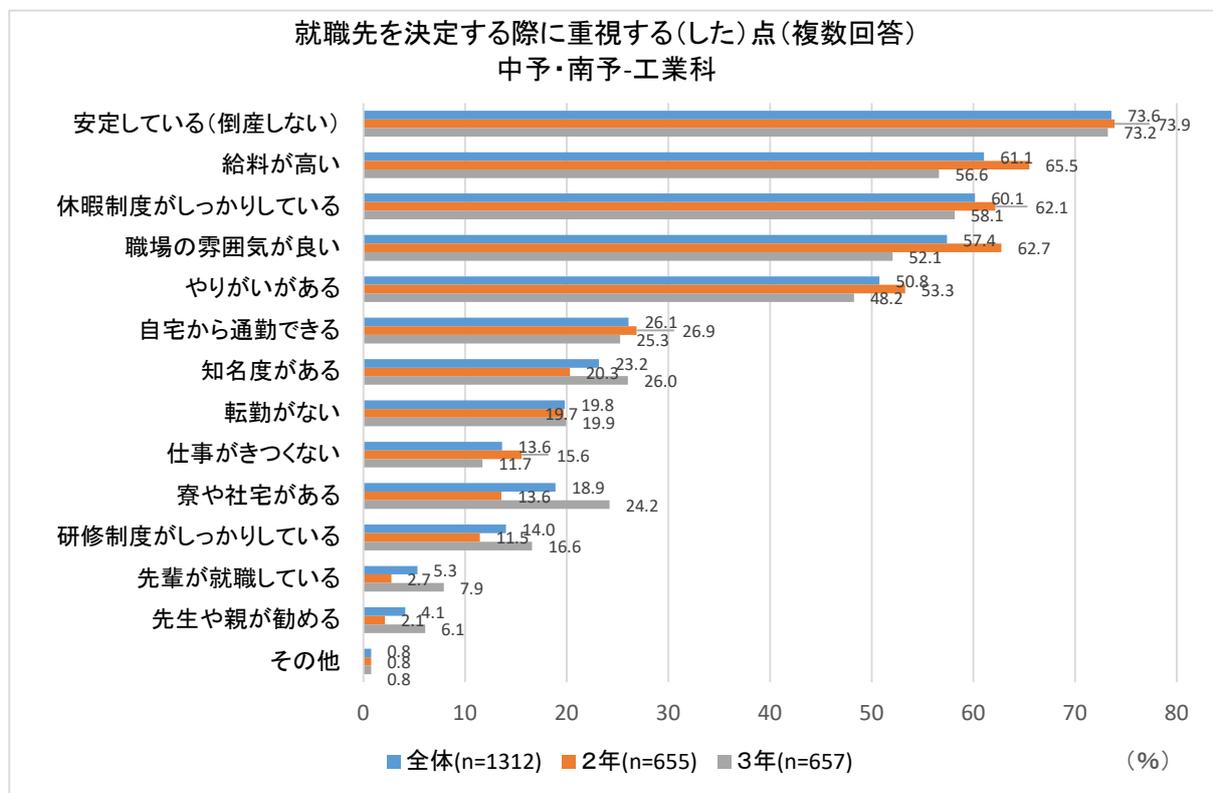
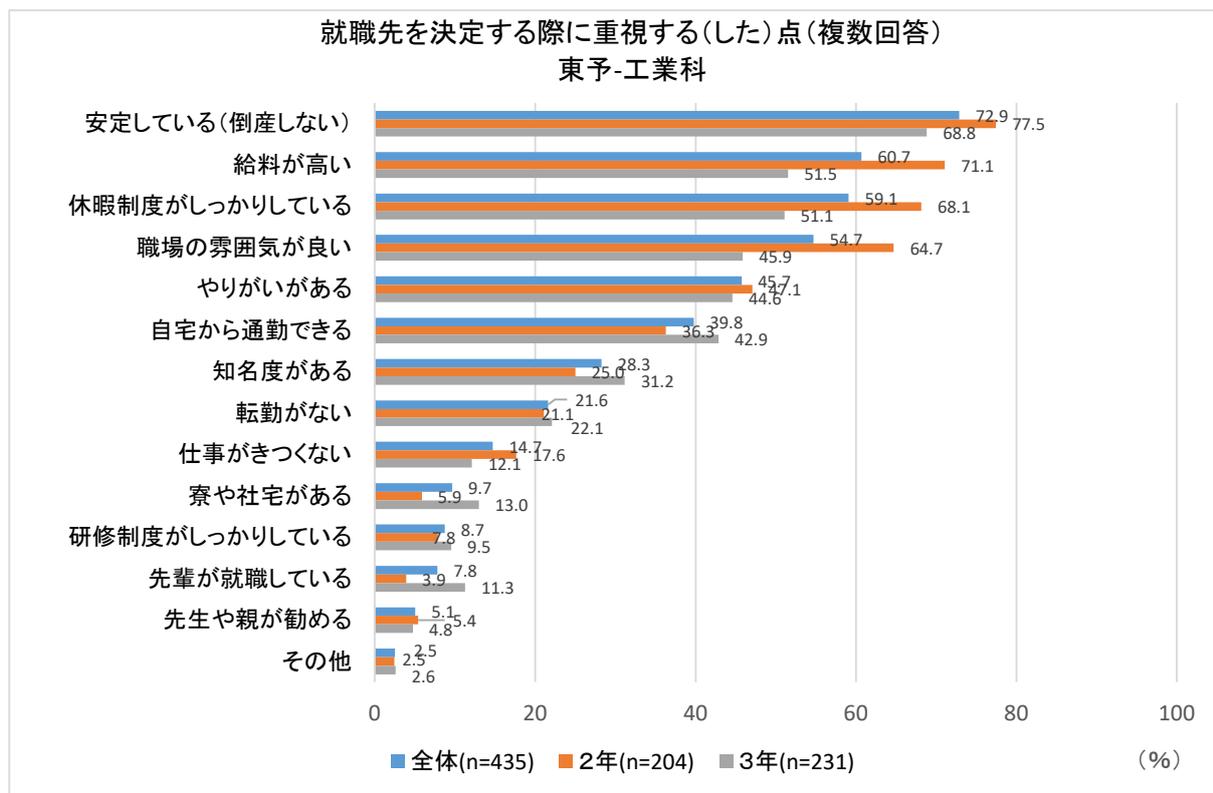
前問で、東予東部地域に「悪いイメージ」を持つと答えた生徒に、その理由を尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体では「買い物・娯楽施設が少ない」が61.9%、「生活が不便そう」が42.9%、「人柄・方言がきつそう」が33.3%などとなった。

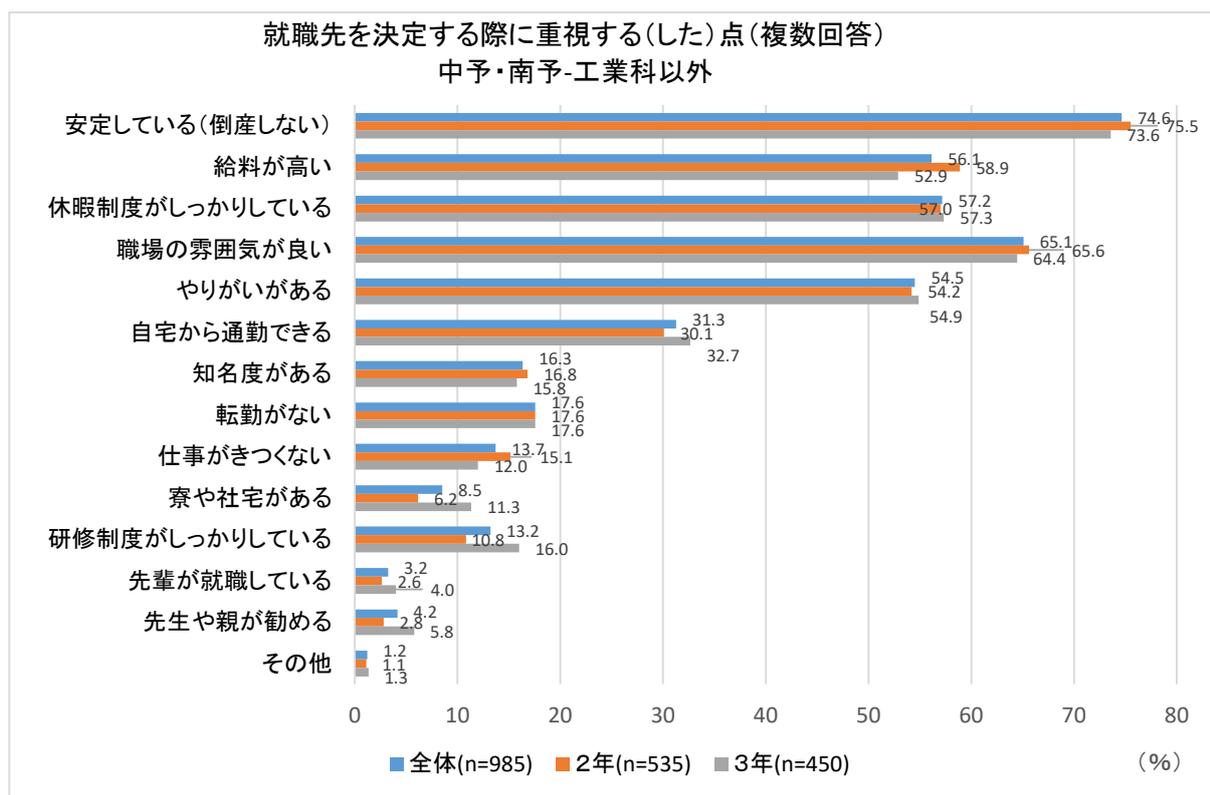
中予・南予の生徒は、「人柄・方言がきつそう」が5割以上を占め、「生活が不便そう」「買い物・娯楽施設が少ない」も3～4割程度となった。「働ける企業が少なそう」は、工業科生徒と比べ、工業科以外の生徒が10ポイント以上高くなった。

➤ 東予東部地域のイメージが「悪い」と回答した理由（自由意見）

- ・ 空気が悪い
- ・ 怖い
- ・ 分からない
- ・ 川などにゴミが多い
- ・ 言い方がやわらかくない、いかつい
- ・ 態度が悪い

(15) 就職先を決定する際に重視する(した)点





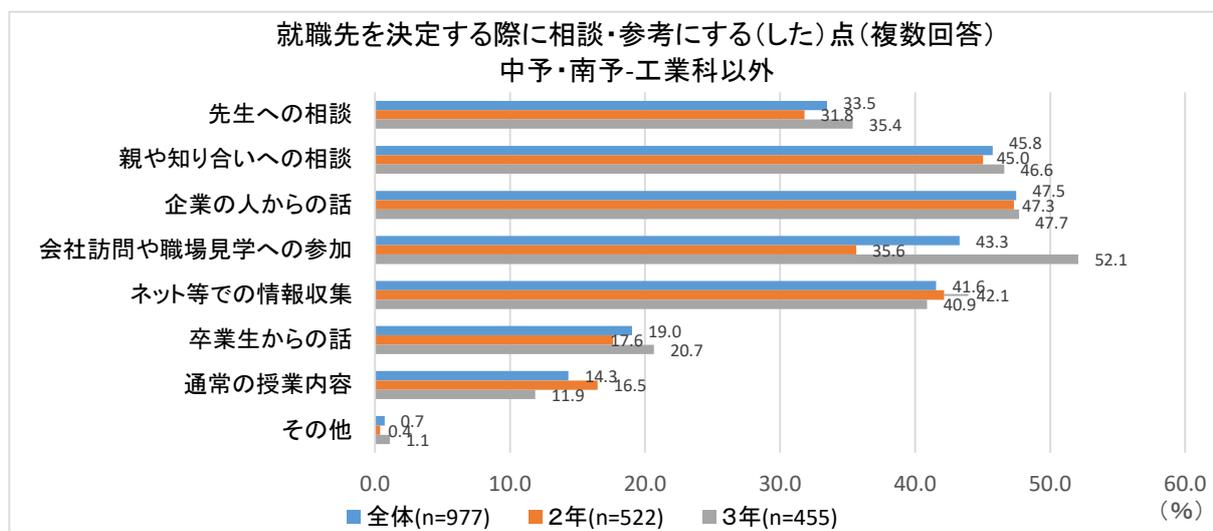
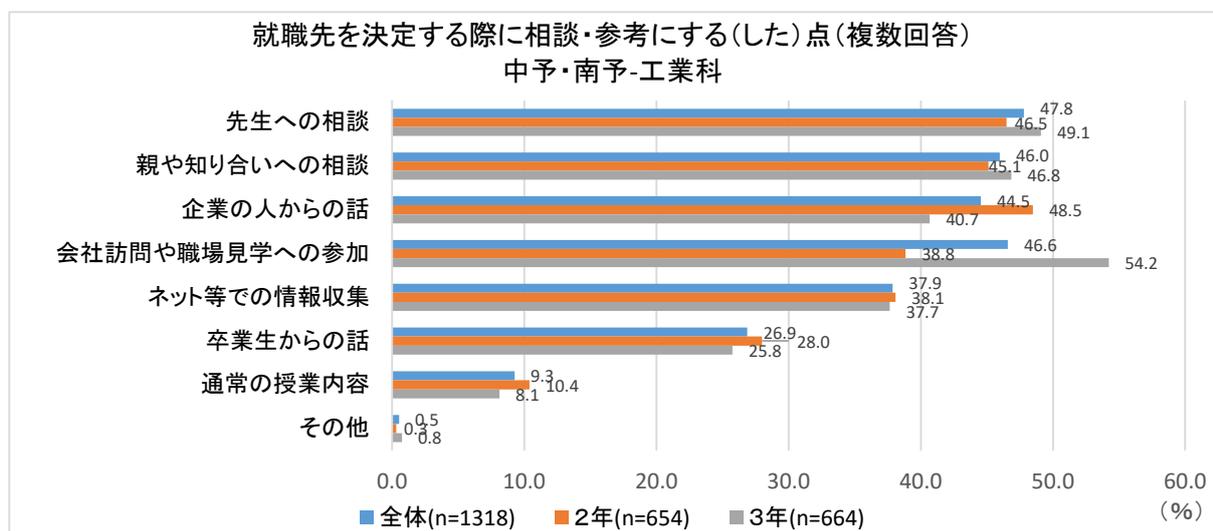
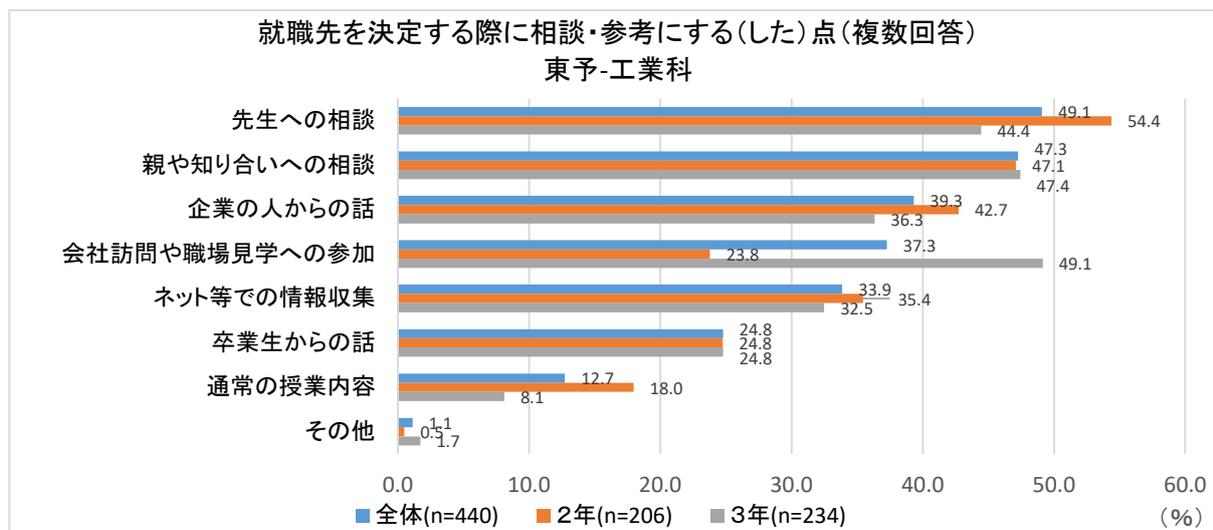
就職先を決定する際に重視する(した)点について尋ねたところ、概ね高い割合の順に「安定している(倒産しない)」「給料が高い」「休暇制度がしっかりしている」などとなり、地域や学科による差異はあまりみられなかった。

また、待遇や職場環境に関する回答割合は、2年生が3年生を上回っているが、「自宅から通勤できる」「転勤がない」「寮や社宅がある」といった項目の回答割合は、3年生が2年生を上回っている。

➤ 就職先を決定する際に重視する(した)点(自由意見)

- ・ 会社がきれい
- ・ 長続きできそうなところ
- ・ 社員のことを考えてくれる
- ・ 新しいことに挑戦している
- ・ 福利厚生がしっかりしている
- ・ 残業が少ない
- ・ 人の役に立てる
- ・ 相談しやすい環境がある

(16) 就職先を決定する際に相談・参考にする(した)こと

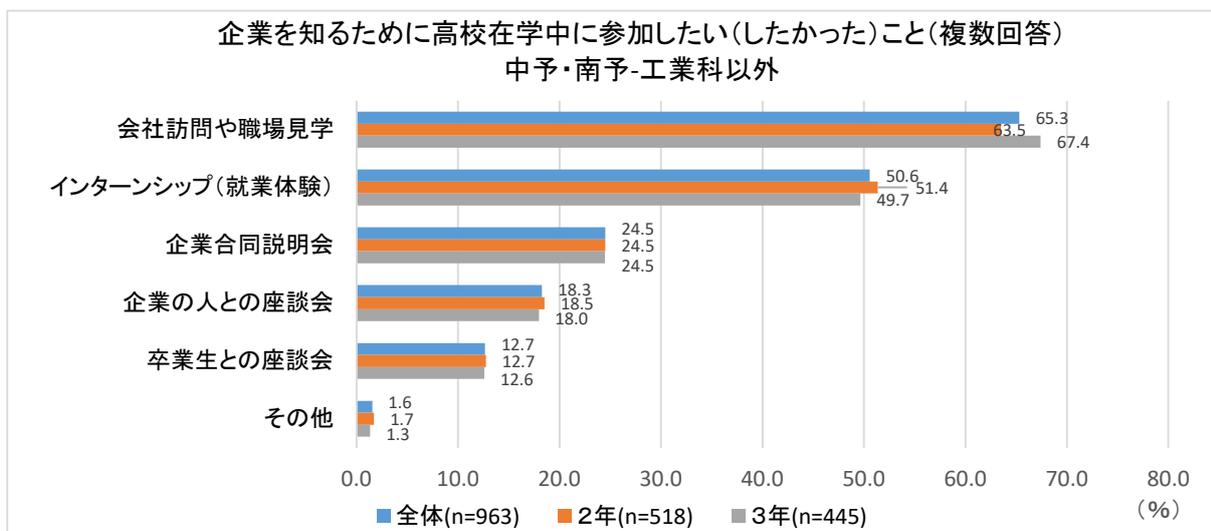
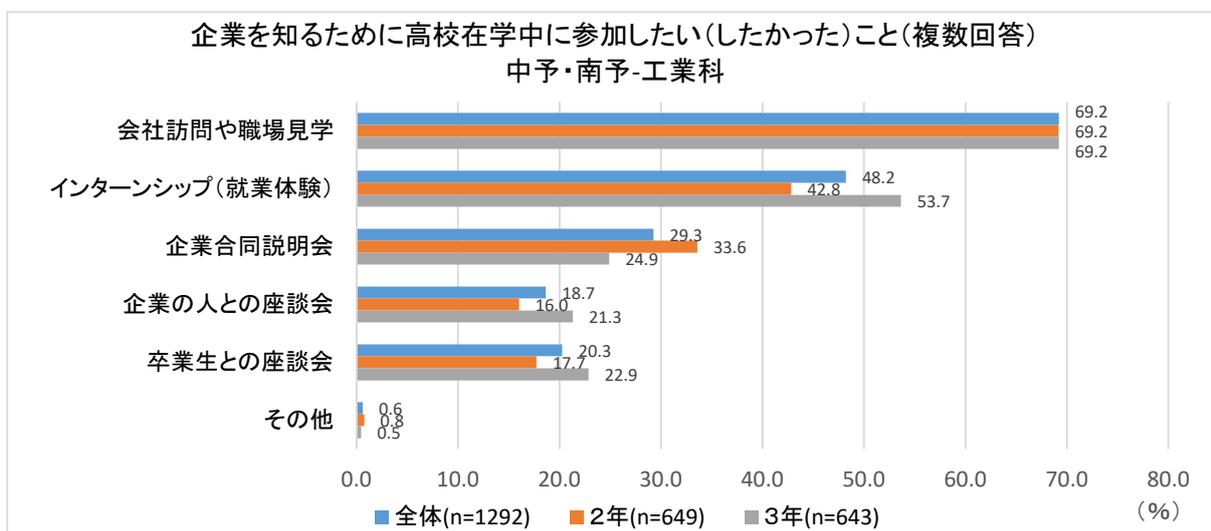
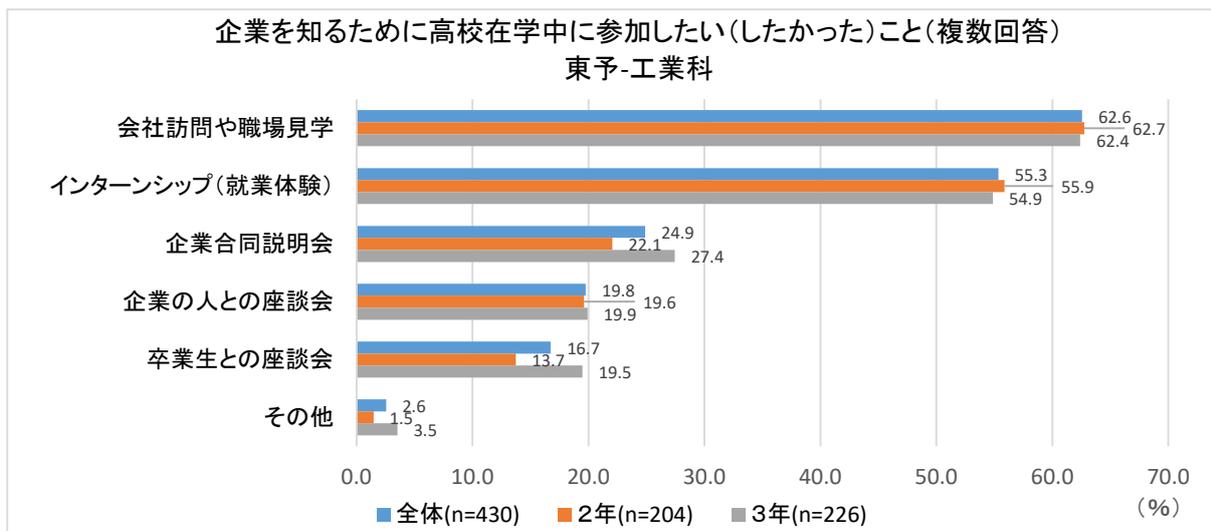


就職先を決定する際に相談・参考にする（した）ことについて尋ねたところ、東予の工業科生徒は、全体では「先生への相談」が49.1%、「親や知り合いへの相談」が47.3%、「企業の人からの話」が39.3%などとなった。学年別にみると、2年生は「先生への相談」が54.4%、「親や知り合いへの相談」が47.1%などとなったのに対し、3年生は「会社訪問や職場見学への参加」が49.1%と最多で、「親や知り合いへの相談」が47.4%、「先生への相談」が44.4%などとなった。

中予・南予の工業科生徒は、全体では「先生への相談」が47.8%、「会社訪問や職場見学への参加」が46.6%、「親や知り合いへの相談」が46.0%、「企業の人からの話」が44.5%などとなった。学年別にみると、3年生の「会社訪問や職場見学への参加」が54.2%と高かった。

中予・南予の工業科以外の生徒は、全体では「企業の人からの話」が47.5%、「親や知り合いへの相談」が45.8%、「会社訪問や職場見学への参加」が43.3%、「ネット等での情報収集」が41.6%などとなり、「先生への相談」は33.5%だった。学年別にみると、3年生は「会社訪問や職場見学への参加」が52.1%と高かった。

(17) 企業を知るために、高校在学中に参加したい（したかった）こと



企業を知るために、高校在学中に参加したい、あるいは参加したかったことについて尋ねたところ、東予の工業科生徒は、「会社訪問や職場見学」が6割強、「インターンシップ（就業体験）」が5割強を占め、学年による差異はみられなかった。

中予・南予の工業科生徒は、「会社訪問や職場見学」が7割近くで学年による差異はみられなかった。「インターンシップ（就業体験）」は、3年生が53.7%で2年生（42.8%）を10ポイント以上上回ったのに対し、「企業合同説明会」は、2年生が33.6%、3年生は24.9%と逆の傾向がみられた。

中予・南予の工業科以外の生徒は、「会社訪問や職場見学」が7割弱、「インターンシップ（就業体験）」が5割前後、「企業合同説明会」が2割強で、学年による差異はほとんどみられなかった。

その他の自由意見としては、「会社主催の感謝祭など」という回答があった。

➤ 将来働くうえで、不安に感じること（自由記述）

- ・ 何回も就職活動して落ちたらどうなるのか
- ・ 働きたくない
- ・ 就職できるか不安
- ・ まだまだ実力不足なので、もっと頑張って上を目指せるよう精進したい
- ・ 続けていけるか、独立できる企業にした方がいいのか
- ・ 生活に慣れるかどうか
- ・ 先輩とのコミュニケーション、一人暮らし、お金が不安
- ・ 未成年で保険などの知識が無いことが不安
- ・ 職場の人とうまくやっていけるか不安
- ・ 家から離れた地で一人暮らししていくうえで、生活のやりくりがしっかりできるか
- ・ 分からない作業があるとき、企業の人に積極的に教えてもらおうとするべきか
- ・ 県外の大手で働くことになるので、しっかりと自分をアピールしていけるか心配
- ・ 求人票の内容と実際が違う会社があること
- ・ 人間関係がうまくいくか不安
- ・ 自分が企業に就職してからきちんと技術を身に着けることができるか不安
- ・ 転勤が面倒
- ・ 今までやったことのないこと（働くこと）をするので、ただ不安
- ・ 住む場所が変わるので、生活環境がどのように変わっていくのか
- ・ 日本経済は滞っていて、デフレも進んでいる。GDP 成長率も低く、見た目だけになっている。少子高齢化も進み、ブラック企業など、働くうえで不安を感じる
- ・ 同期や上司とうまくやれるか
- ・ 仕事が減っているので就職できるか不安
- ・ ブラック企業などの問題
- ・ 今はオリンピック景気だから求人も多いが、オリンピックが終われば大変になる気がする
- ・ 職場のマナーが不安
- ・ 休みが取れるか
- ・ 異性との出会いがあるかどうか
- ・ 仕事ができない人はクビになるのか
- ・ 何もかも一人でやらないといけないのが不安
- ・ 様々なハラスメントが不安
- ・ 一人暮らしになるので、家事と仕事の両立と織物製造の仕事なのに手先が不器用なので、置いていかれないかどうか
- ・ 通勤時間が 100 分くらいかかる
- ・ 新しい環境でやっていけるか、続けることができるか不安
- ・ 勝ち残っていけるか（ファッション）

- ・ 働き方が今の時代に合っているのか
- ・ 今までやってきたこと（専門）と全く別のことをするので、ついていけるか不安。勤務地や研修の内容など、まだ詳しく知らないので不安
- ・ 若い人が人間らしい最低限の暮らしすらできない時代が来るのではないかと、年金を多くとられ、それがすべて返ってくるのか無駄な出費にならないか、職場のパワハラも心配、そのために自殺する人も増えている、私は死にたくない、他の若い人たちも同じ思いだと思う
- ・ 今は経済が安定しているが、4年後など不安定になったときに就職できるか
- ・ 自立して働いてコミュニケーションがとれるか不安
- ・ 就職先が昼勤と夜勤の入り混じる企業なので、ちゃんとやっていけるか不安
- ・ 入居するときのお金
- ・ 学校での勉強が企業で役立つか心配
- ・ 体力があまりないのが心配
- ・ 二交代制の中での体調管理や十分な睡眠がとれるかどうか不安
- ・ 自分のつきたい仕事はどんな資格が必要か、どんな学校に進学すればよいか
- ・ 年金をなくしてほしい
- ・ 仕事に必要な資格を会社に入ってから取得する予定だが、その資格の合格率が8%と厳しく、取得できるか少し不安
- ・ 年代の違う人とのコミュニケーション
- ・ ブラック企業がどうか
- ・ 三交代制なのでちゃんと起きれるかが不安
- ・ 自分で行きたくて志望したけど、知らない土地で一人暮らしするのは不安
- ・ 自分で考えて行動するのが苦手
- ・ もっといろいろな場所の工場見学に行きたい
- ・ いろいろな企業の話聞いてみたい
- ・ 現在の情報やパンフレットだけでは内容が不十分で企業の外見だけしか分からず、どの職場が自分に合っているのか、どのような作業や給料・ボーナスなどが不透明。非正規雇用が増え、中小企業の倒産などが増加している中で、一度その会社に入って続けていけるか、その職場が自分に合わず辞めてしまったときに別の職場で自分がやっていけるのか、安定した給料がもらえるのかも不透明で、選びづらい状況。
- ・ サービス残業をたくさんさせられるのではないかと不安がある
- ・ 今より勉強を頑張らないといけない
- ・ しっかり勉強して希望しているところに入りたい
- ・ 外に出るのが怖い
- ・ やりがいのある仕事に就く
- ・ 給料が低いことや休みがない会社が多そうで不安
- ・ 怖い
- ・ 自分の技術を生かせるところを考えて選びたい

- ・ 自分にどの作業があっているのかわからない
- ・ もっと詳しくいろいろ知りたい
- ・ 上司の方たちと上手くやっていけるか
- ・ 責任感
- ・ 人間関係
- ・ 朝起きられるかどうか
- ・ 早く仕事内容を覚えられるか
- ・ 周りについていけるかどうか
- ・ 早く決まらなかつたら焦る
- ・ ミスしそう
- ・ 一人暮らしをしながら生活できるか
- ・ 一からのスタートで緊張する
- ・ 買い物娯楽施設を増やしてほしい
- ・ 社会人のマナーを覚えきれるか心配
- ・ 仕事を続けられるか
- ・ 自分の責任が学生より重くなるが、償っていけるかどうか
- ・ 働きたくない
- ・ まず卒業できるか不安
- ・ 自分のやりたいことが本当にそれなのか分からない
- ・ 休日出勤があると不安
- ・ やりがいを感じるかどうか
- ・ 職業選択がどのように変わっていくのかの予想がつかないので、現時点で決めるのは難しい
- ・ 県外の企業を知る機会が学校にない
- ・ 環境の変化が不安
- ・ 一人暮らしが不安
- ・ 会社になじめるか不安
- ・ 仕事とリアルで両立できるか不安
- ・ 続けられるか不安
- ・ 企業に貢献できるか不安
- ・ 休みがあるか
- ・ 起きられるか不安
- ・ 退社する人の少なさ
- ・ 都会に出てうまくやっていると心配である。けれど楽しみな部分もたくさんある。
- ・ 行きたい企業があっても就職活動が近づかないと現実的な問題が分かりづらく将来がとて不安であること
- ・ 仕事はあまり選ぶのに迷わず、結婚した時に大切な人を養っていける仕事につきたい
- ・ ブラックかどうかの判別がしづらい、求人を出すタイミングで 1 か月の監視の制度を作

- ることで、ブラック企業が立ち行かないようにする
- ・ 企業を知る機会を増やしてほしい
  - ・ 自分の行きたい会社が求人を出すか
  - ・ インターンシップを通して社会の仕組みを深く知ることができたので、いい就職活動ができそう
  - ・ 就職についてクラスで考える時間が欲しい
  - ・ 女性が少ない
  - ・ 求人票は写真付きの方が良い
  - ・ 仕事をするのが怖い
  - ・ 「働く」それは未知の世界
  - ・ もっと勉強しておけばよかった
  - ・ 進学校で進む先を決めたい人に対して、各学科から進みやすい企業の内情を知る機会がないので、進路選択で決めづらい。
  - ・ 学校でも大学進学の見越した就職についての活動をしたい。
  - ・ 雇用している人が年々減少していること
  - ・ 就活の時期とオリンピック後の不景気が心配
  - ・ 学歴は意味があるかどうか
  - ・ とても関心はあるが、まだまだ調べが足りていなく、将来働きたい仕事も変わると思う
  - ・ 現時点ではしっかり続けていくつもりだが、どうなるか分からない
  - ・ しっかり仕事が覚えられるか
  - ・ 通勤等が心配
  - ・ 働きながら資格の勉強と両立しているか不安
  - ・ 効率の良い資格の勉強方法
  - ・ 不安しかない
  - ・ どんな企業があるのかももっと分かるといい
  - ・ 慣れない環境に住み、体力を使う仕事なので体調を崩すことが不安
  - ・ 環境になれるか不安、人間関係など
  - ・ 人間関係
  - ・ 一人暮らしできるか。健康に過ごせるか
  - ・ 安心できることがないことが不安
  - ・ 仕事をこなせるか不安
  - ・ 一人だけミスが多い
  - ・ 給料や休日数もだけど福利厚生がしっかりしているところに働きたい
  - ・ 社会という場で未体験のことがたくさんあることに楽しみにしている
  - ・ 頼まれた仕事をこなせるかどうか
  - ・ ちゃんと会社の役に立てれるか
  - ・ 新しい環境に慣れるかどうか、人間関係は良好か、休みは取れるか
  - ・ 職場の人間関係

- ・ 職場の人と上手くやっていけるか
- ・ もっと積極的に企業からアピールしてもいいと思う
- ・ 不安がある
- ・ AI の発展に伴い、人間の仕事の減少
- ・ 育休制度だったり、職場でのジェンダー差別やブラック企業であるかないか、自分が働き、短い人生の中で選ぶ、貴重な時間を費やすからこそ、不安に思う。給料はもちろん価値観の違いがきっと障壁になるのではと、自分は思う。
- ・ 職場での人間関係、時間外労働
- ・ 会社に貢献できるか、会社の人たちと上手くやっていけるか
- ・ 給料が安い
- ・ 研修のようなものがなくても仕事をこなせられるか
- ・ 来年度できるだけ早く自分に合った就職先を見つけたいです。
- ・ 就職して上手くやっていけるか、正直不安に感じている。
- ・ 先輩たちと仲良くできるか
- ・ 仕事内容を覚えられるか、人間関係をよく保てるか
- ・ 年金制度
- ・ まだ就職について決められてないことが多いので不安を感じる
- ・ 仕事に慣れるか
- ・ 本当に今就きたい職業につけるのかどうか不安
- ・ しっかり自分の能力にあった仕事場を探したいと思う
- ・ 朝起きれるか、先輩と上手くできるか、車の免許取れるか
- ・ 給料が少ない
- ・ その時に応じてお客様に接せられるか
- ・ 給料がしっかりもらえるか
- ・ AI などへの移行
- ・ 18 歳から働くということは同期入社した人達でも、年上の方が多くのでちゃんとやっていけるかが不安
- ・ ひとりの時間がかなりほしい
- ・ 体力がもつか不安
- ・ お金の管理が不安
- ・ 仕事を覚えられるか、資格を取得できるか
- ・ 自分がしたい仕事でやりがいのある楽しい仕事がしたい
- ・ 会社訪問を春休みとかにしたい
- ・ 一度も訪れたことがないので、道が不安
- ・ 他の学校と比べて学校があまり協力的でないことへの不安
- ・ 就職活動というか、入社して、1,2 年で辞めてしまう若い世代が増えている中で、会社は一体どんなことをして、大切な人材を失っているのか
- ・ ブラック企業には入らないようにしたい。情報を集めてちゃんとしたい

- ・ 最近ブラック企業という言葉をよく聞くが、休暇制度や労働時間など会社等で決めているのか気になる
- ・ どの時期に就職活動をするのか、どのようにして就職活動をしたらいいのかわからない

## 2. ヒアリング結果

アンケート結果をもとに、東予東部地域（新居浜市、西条市、四国中央市）のものづくり企業の経営者・採用担当者に、自社の採用状況や中予・南予への求人、アンケート結果に対する意見などをヒアリングした。その概要は以下のとおりである。

### （1）現在の採用活動

- ・ 新卒・中途ともに地元中心に募集を行ってきた。地元外にも求人を出したいが、知名度はないし、手間もかかるので出来ていない。
- ・ 地元重視で採用している。来年度（令和2年4月）は、新卒者を新居浜高専と市内の高校卒業者を採用する。
- ・ 近年は新卒募集をしても採用できなかったため、中途採用のみ募集していた。来年度からは新卒募集を再開する。地元高校からの採用を想定しているが、エリアは問わない。
- ・ 「会社訪問や職場見学」の回数を増やしたり、内容を充実させたり、企業としてやるべきことはありそうだ。
- ・ 企業努力で大企業以上に魅力のある仕事があることをPRしなくてはならない。

### （2）中予・南予への求人について

- ・ 南予の高校の学校推薦枠がある。生徒の工場見学を受け入れ、毎年継続して入社してもらっているが、採用人数は減少している。
- ・ 高卒新規採用は、今のところ地元で充足しているが、将来的には中予・南予にエリアを広げる可能性はある。
- ・ 中予・南予の高校にアプローチはしたことがない。継続的に募集・採用できれば地元以外からの採用を検討してもよいが、ここ数年は地元の工業高校の生徒をまとめて採用できている。
- ・ 中予・南予の高校生は、東予の会社の社名すら知らないだろうから、仮に募集

するとしても課題は多いと思う。

- ・ 南予と比べると、東予の方が生活環境（買い物や医療）や娯楽などは充実していると思う。ただ、それだけの理由では東予の中小企業には就職しないと思う。
- ・ 中予・南予の高校にも求人を出しているが、近年は応募者がいない。
- ・ 東予から南予は「遠い」と感じる。逆に南予から東予も「遠い」と思うだろう。
- ・ 南予に求人を出したが、居住地・勤務地として松山が一つのボーダー。松山の先は新居浜ではなく、関西である。南予から東予の企業を選んでもらうには相当の理由・魅力がないと難しい。
- ・ 中予で企業説明会をやると、反応が鈍い。どうしても他の（中予の）企業に流れているような気がする。
- ・ 最終的には、生徒が決めることだが、もっと中予・南予の高校にアピールする必要がある。

### （3）ものづくり企業に対するイメージ

- ・ 給料が低いとか作業がきついかは、イメージの問題であって個別企業によって中身は違う。学生に丁寧に説明するしかない。
- ・ 東予の製造業・技能職の給与はサービス業や福祉などと比較して高い方だと思う。
- ・ 中・南予の高校生に、東予のものづくり企業を説明会やパンフレットだけで説明しても、仕事の中身が想像できないのではないか。
- ・ 「製造業＝給料が低い」というアンケート結果は意外だ。残業・休日出勤がなくて休暇が取りやすい企業なら、サービス業より人は集まると思う。
- ・ 給料が安いというのはイメージ・思い込みだと思う。サービス業より水準が高いと思うし、勤務時間や休暇は法律で定められたとおりにしている。
- ・ 企業と学生の間ギャップがあることは理解している。逆に、「ギャップを埋めれば学生を採用できる」と考えて採用方法やPRを行うと、攻めやすいのではないか。

- ・ (2年生の)ものづくり企業の「悪い」イメージに「給料が安い」「勤務時間が長い」という回答が多いことは意外だった。企業のPR不足かもしれない。
- ・ 検査業務には女性がおおり、「向いている」という社員もいる。工場にも活躍の場はいろいろあり、適材適所の配置をしている。
- ・ ものづくり企業＝給料が安い というイメージを持たれるかもしれないが、徐々に待遇を改善している。

#### (4) 学校や親の関与について

- ・ 企業を選ぶにあたっては、親の希望・意見が左右している。
- ・ 先生と企業との接点はあるけれども、生徒と企業との接点は、企業見学や面接のときくらいしかない。先生の持っている情報が生徒に伝わりにくい。
- ・ 先生の次に親の勧めが大きいと思う。
- ・ 学校の成績が優秀な順に決めているようだ。
- ・ 何となくだが、高校生は親、高専生は先生の意向が影響していると思う。
- ・ 2年生は「手に職」と思って、ものづくり企業を志望するが、3年生になると自分のこと捉えないで、親の希望が反映されたかたちで企業を選んでいる。
- ・ (アンケート結果から)2年生が「先生への相談」、3年生で「親や知り合いへの相談」という回答が多いのは、当然だろう。
- ・ 高校の先生から「東予にはいい企業が多いが、県外大手・有力企業から求人があれば、本人の希望も聞いたうえで県外企業を推薦している」と聞いたことがある。
- ・ 親は「知らない会社」には行かせたくないという思いがあるかもしれない。家庭でもよく話し合って会社選びをしてほしい。

#### (5) 行政や協議会への要望

- ・ 中堅規模以下の企業では、採用方法も限られる。学生向けの企業説明会があれば、積極的に参加したい。

- ・ P Rできていない部分は、行政等に支援してもらいたい。
- ・ 企業紹介・P Rは積極的に取り組みたいが、1社・単独では限界がある。行政や協議会を中心に企業説明会を開催してもらえるとありがたい。
- ・ 企業と学校との接点を増やす必要がある。今後、行政や協議会で検討してほしい。

## (6) その他

- ・ 四国中央市は、慢性的な人手不足で求人が多く出ている。
- ・ 今は売り手市場である。人数は足りていても、能力的に欲しい人材が来てもらえないと感じる面がある。
- ・ 産業構造が変わっているので、ものづくりという概念が弱まっている。
- ・ I T化・I o T化が進み、自動車を中心に成り立っていた日本の「ものづくり企業」のあり方や優位性が変わってきていると思う。
- ・ 中小企業が単独で寮や社宅を整備するのは難しく、共同整備・利用やシェアハウスなどを検討・対応できるのではないか。

## おわりに

### ◆ ものづくり企業への就職について

アンケート結果から、県内の高校生はものづくり企業について、学科や学年、地域に関係なく、良いイメージを持つ割合が高かった。しかしながら、ものづくり企業に就職したいという割合は、工業科生徒の約5割、工業科以外の生徒では1割にとどまった。一方、企業は、技術者・技能者以外にも営業・経理などの事務系職種を採用したり、本人の適性による配置を行ったりしている。また、休暇を含めた待遇の向上や職場環境の改善で、いわゆる3Kイメージの払しょくにも努めている。学校では高校生に対して、ものづくり産業の重要性や、やりがい・達成感などを伝えていくとともに、企業は、自社の事業概要や仕事内容、工場・事務所の様子などを写真や動画などを用いて分かり易くPRすることが求められる。本協議会では、中予・南予の高校生向けに作成した「東予東部ものづくり企業紹介パンフレット」を配布し、企業のPRや地域の魅力を発信しているが、本調査結果を踏まえた内容の追加・更新など、継続的・効果的に取り組む必要がある。

### ◆ 「東予東部地域」での就職について

中予・南予の高校生は、地元や松山以外の就職先として県外志向が強い一方、そもそも、東予との関わりがないため、どのような企業があるのかさえ知らない者が多い。このことから、中予・南予の高校生にとって「働きたい企業」になってもらえるよう、合同会社説明会の開催や地元以外からのインターンシップ受け入れなど、企業と生徒との接点を増やし、自社の認知度を高める取り組みが求められる。なお、中小企業では寮・社宅を持たないところが多いため、自宅外から通う社員向けに企業が連携してアパートを整備したり、空き家を利活用したシェアハウスを検討したりする対策が求められる。また、本協議会においては、『東予

東部地域の概要や地域の魅力を伝え、若者の県外流出を抑制させるという』観点から、祭りをはじめとする東予東部地域の特色ある文化や買い物・生活環境、交通利便性などについて、わかりやすく説明していく必要がある。

#### ◆ 就職先を決めるにあたって

就職先を決めるにあたって、本人の希望はもとより、先生や親の意向が影響するといわれている。ただ、アンケート結果から、就職先の決まった3年生は、「会社訪問や職場見学への参加」が就職先決定に参考になったという回答が多かった。企業には、会社訪問や職場見学が集中する3年生の夏休みをターゲットに、より多くの生徒を受け入れできる体制づくりと、自社を選んでもらいたいと思わせるようなプログラムづくりが求められる。また、保護者向けにパンフレットを作成したり、説明会を開催したりするなど、説明と相談の機会を提供することも大切である。学校では、卒業生の地元定着および将来のUターンを期待して「愛媛で就職したい」「東予の企業をもっと知りたい」といった動機づけを早い段階から行い、多くの県内企業と接点を持ち、強化していくことが重要である。

#### ◆ 中予・南予へのPRについて

企業へのヒアリングからは、現時点では地元採用が中心で、中予・南予の高校新卒者を採用していないところが多かった。一方、採用難の問題を抱えている企業では「エリアに関係なく募集している」「将来的に中予・南予へ求人を出す可能性はある」などという意見があった。とりわけ、こうしたニーズは中堅規模以下の企業に多いとみられるが、企業が単独で広域かつ複数の媒体でPR・募集することは、難しいのが実状である。本協議会が中心となり商工団体や業界団体などと連携し、学校訪問や会社説明会・企業見学会の開催、ホームページ・SNSなどによる情報発信を検討・実施することが望まれる。